「第３次北名古屋市子ども・子育て支援事業計画」策定のためのアンケート調査

結果報告書

令和６年８月

□■目次■□

Ⅰ　調査の概要 1

１　調査の目的 1
２　調査の方法 1
３　報告書のみかた 1

Ⅱ　就学前児童のいる世帯の調査結果 2

１　お住まいの地域について 2
２　お子さんとご家族の状況について 3
３　お子さんの「定期的な」教育・保育の利用状況について 6
４　お子さんの「不定期な」教育・保育の利用状況について 14
５　お子さんの子育て支援事業の利用状況について 17
６　お子さんの病気やけがの際の対応について 19
７　小学校就学後の放課後の過ごし方について 22
８　保護者の就労状況・職場の両立支援について 24
12　児童虐待について 39
13　貧困関係 41
14　ヤングケアラー関係 42
11　子どもの育ちを巡る環境について 44
13　さいごに 46

Ⅲ　就学児童のいる世帯の調査結果 47

１　お住まいの地域について 47
２　お子さんとご家族の状況について 48
３　子どもの育ちを巡る環境について 52
４　保護者の就労状況について 56
５　お子さんの子育て支援事業の利用状況について 60
６　お子さんの病気やけがの際の対応について 61
７　お子さんの「不定期な」事業等の利用状況について 64
８　放課後や休日の過ごし方について 66
９　児童虐待について 68
10　貧困関係 70
12　ヤングケアラー関係 71
13　さいごに 73

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

「第３次北名古屋市子ども・子育て支援事業計画（令和７～11 年度）」の策定を進めるにあたり、子育て家庭の生活状況や市の施策に対する、保護者の皆様のご意見・ご要望を計画に反映させるために保護者の皆様にアンケート調査を実施いたします。

２　調査の方法

（１）就学前児童のいる世帯

〇調査対象：北名古屋市在住の就学前児童がいる家庭の保護者
〇調査期間：令和６年６月 14 日～令和６年７月１日
〇調査方法：ＷＥＢ回答
〇配布・回収：

配布数	回収数	回収率
2,500 票	1450 票	58.0%

（２）小学生児童のいる世帯

〇調査対象：北名古屋市の小学生児童がいる家庭の保護者
〇調査期間：令和６年６月 14 日～令和６年６月 26 日
〇調査方法：ＷＥＢ回答
〇配布・回収：

配布数	回収数	回収率
2,500 票	1454 票	58.2%

３　報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

●調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
●図表中の「ｎ」は、「Number of case」の略で、その設問に回答すべき対象者数を示しています。一部の人に回答を求めている設問などがあるため、ｎの値は設問によって異なります。
●百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出しています。本文及び図中の数字に関しては、全て小数第２位を四捨五入し、小数第１位までを表記します。このため、全ての割合の合計が 100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が 100%を超えることがあります。
●図表中の「0.0」は四捨五入の結果又は回答者が皆無であることを表します。また、一部図表においては「0.0」の表記を省略しているものがあります。

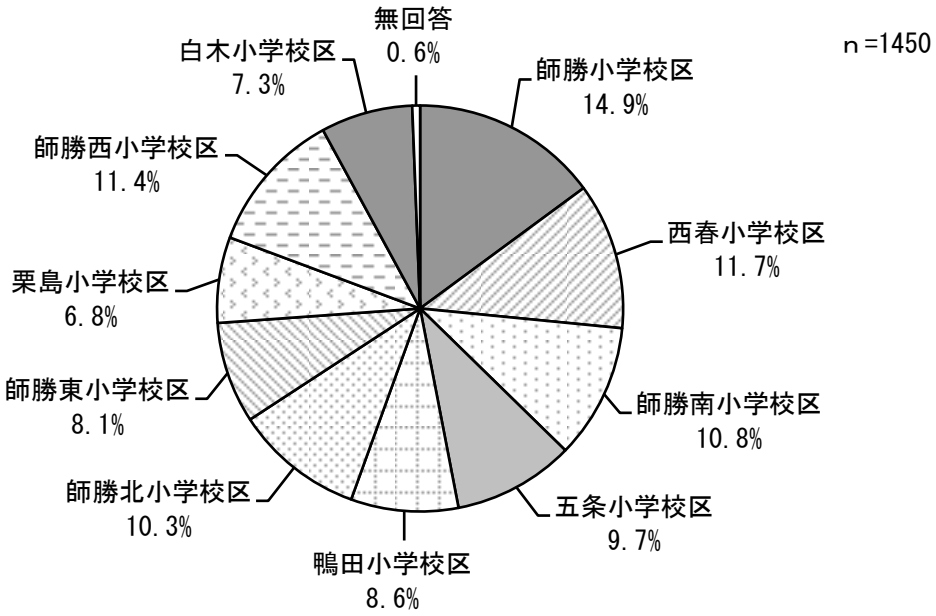
Ⅱ　就学前児童のいる世帯の調査結果

１　お住まいの地域について

（１）居住地区

問１　お住まいの小学校区をお答えください。（当てはまるもの１つに○）

居住の小学校区は、「師勝小学校区」が 14.9%と最も多く、次いで「西春小学校区」が 11.7%、「師勝西小学校区」が 11.4%となっています。

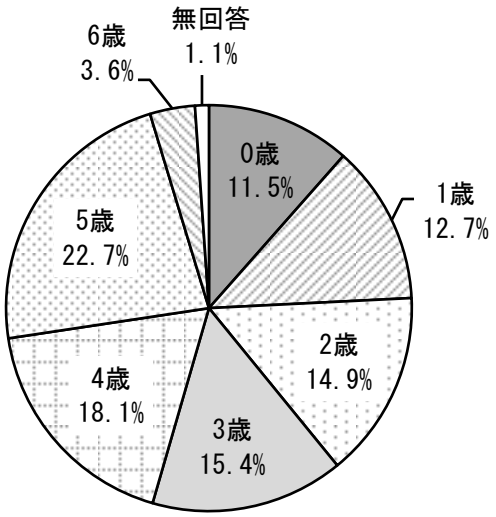


２　お子さんとご家族の状況について

（１）お子さんの年齢

問２　宛名のお子さん（以下、お子さんという）の年齢（令和６年４月１日現在）をお答えください。（当てはまるもの１つに○）

お子さんの年齢は、「５歳」が 22.7%と最も多く、次いで「４歳」が 18.1%、「３歳」が 15.4%となっています。

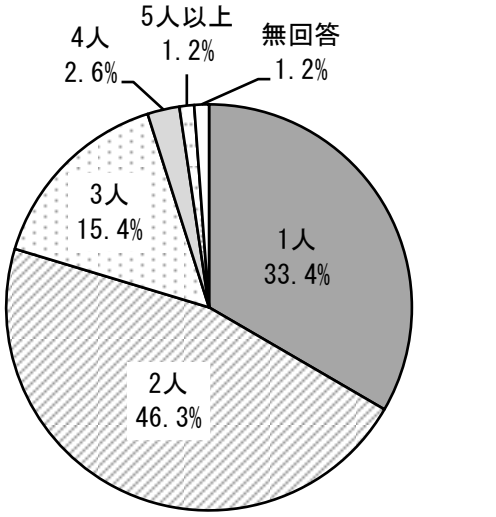


n=1450

（２）お子さんのきょうだいの数

問３　お子さんのきょうだいの数（宛名のお子さんを含めた人数）をお答えください。（当てはまるもの１つに○）

お子さんのきょうだいの数は、「２人」が 46.3%と最も多く、次いで「１人」が 33.4%、「３人」が 15.4%となっています。

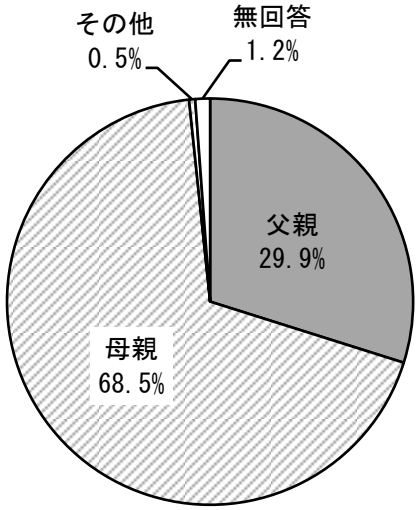


n=1450

（３）回答者とお子さんの関係

問４　この調査にご回答いただく方はどなたですか。（当てはまるもの１つに○）

回答者とお子さんの関係は、「母親」が 68.5%と最も多く、次いで「父親」が 29.9%、「その他」が 0.5%となっています。



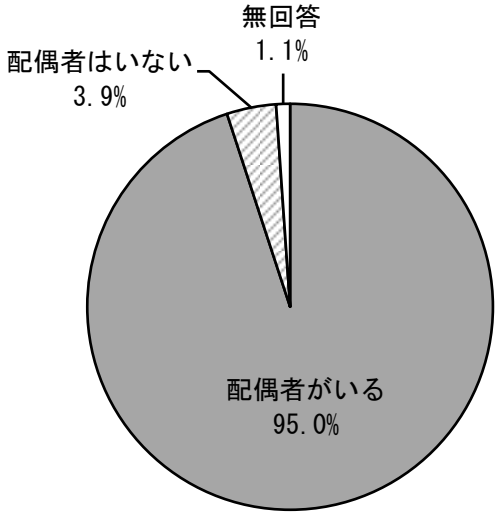
n=1450

【その他】
父母／お祖父さん／祖母

（４）回答者の配偶関係

問５　この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。（当てはまるもの１つに○）

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が 95.0%、「配偶者はいない」が 3.9%となっています。

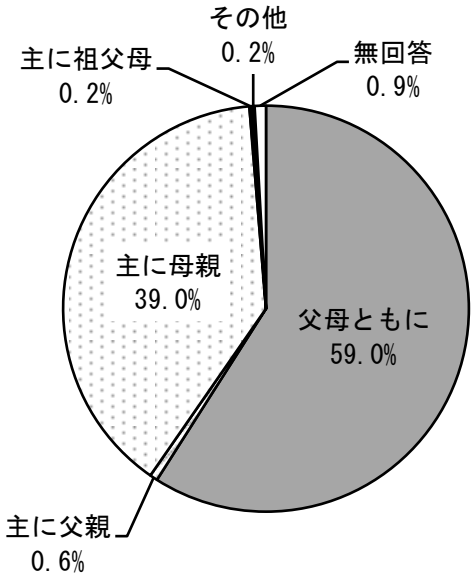


n=1450

（５）お子さんの子育てを主に行っている方

問６　お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方をお答えください。（当てはまるもの１つに○）

お子さんの子育てを主に行っている方は、「父母ともに」が59.0%と最も多く、次いで「主に母親」が39.0%、「主に父親」が0.6%となっています。



n=1450

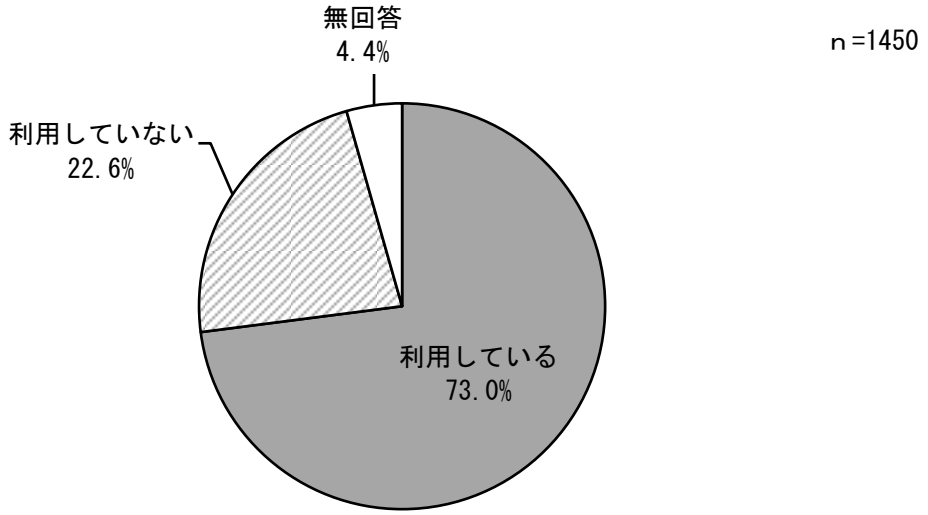
【その他】
父母祖父母／父、母、祖父／母と祖母

３　お子さんの「定期的な」教育・保育の利用状況について

（１）「定期的な教育・保育の事業」の利用の有無

問７　お子さんは、現在幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。（当てはまるもの１つに○）

「定期的な教育・保育の事業」の利用の有無は、「利用している」が 73.0%、「利用していない」が 22.6%となっています。

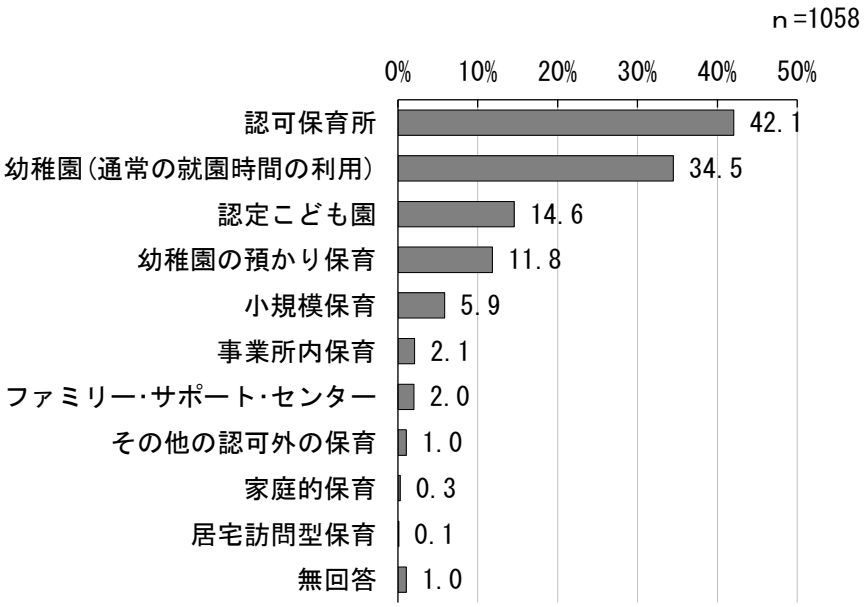


（２）現在利用している事業

【問７で「１」を選んだ方にうかがいます。】

問８　お子さんが現在利用しているものをお答えください。（当てはまるものすべてに○）

現在利用している事業は、「認可保育所」が42.1%と最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が34.5%、「認定こども園」が14.6%となっています。

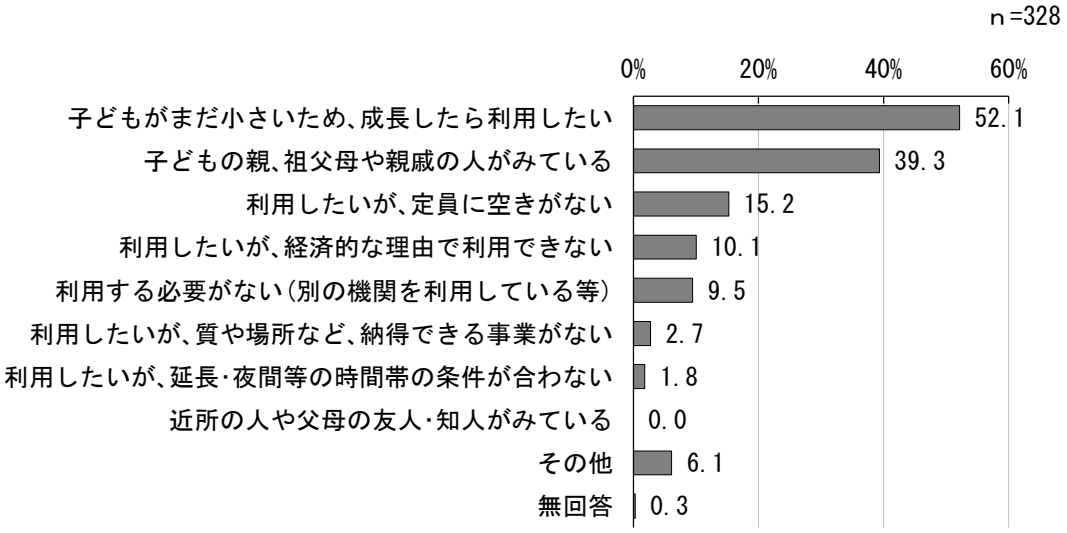


（３）事業を利用していない理由

【問７で「２」を選んだ方にうかがいます。】

問９　教育・保育の事業を利用していない主な理由をお答えください。（当てはまるものすべてに○）

教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい」が 52.1%と最も多く、次いで「子どもの親、祖父母や親戚の人がみている」が 39.3%、「利用したいが、定員に空きがない」が 15.2%となっています。



【その他】

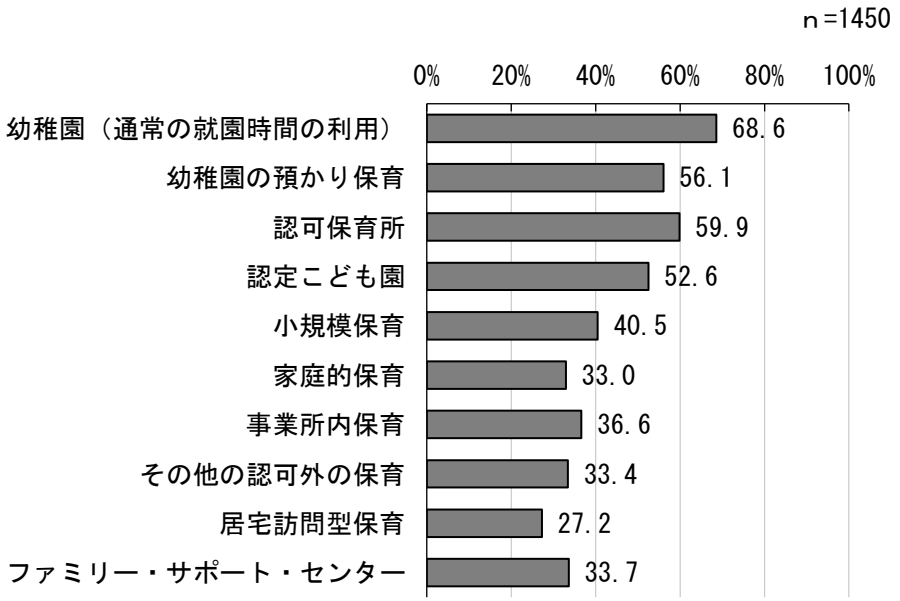
○１号で入園させる予定のため
○４月生まれなので、来年度から利用します。
○発達が遅く、入れるところがない
○託児をすると子どもが泣くので、利用しにくい。
○働いていない状態でも預かってほしい
○仕事とくっついている保育ルームに通っている
○保育園へ通っている
○下の子を乳児で預けた場合による就労時間数で上の子の習い事などが間に合わなくなるため。
○主人の仕事に融通が利かないため仕事復帰に踏み切れない
○母が車を運転しないため、送迎(特に夏や雨の日)を思うと自宅でみる方がラクかと思って

（４）「定期的な」教育・保育事業の利用意向

問１０　お子さんが現在利用しているしていないにかかわらず、利用したいものをお答えください。（当てはまるものすべてに○）

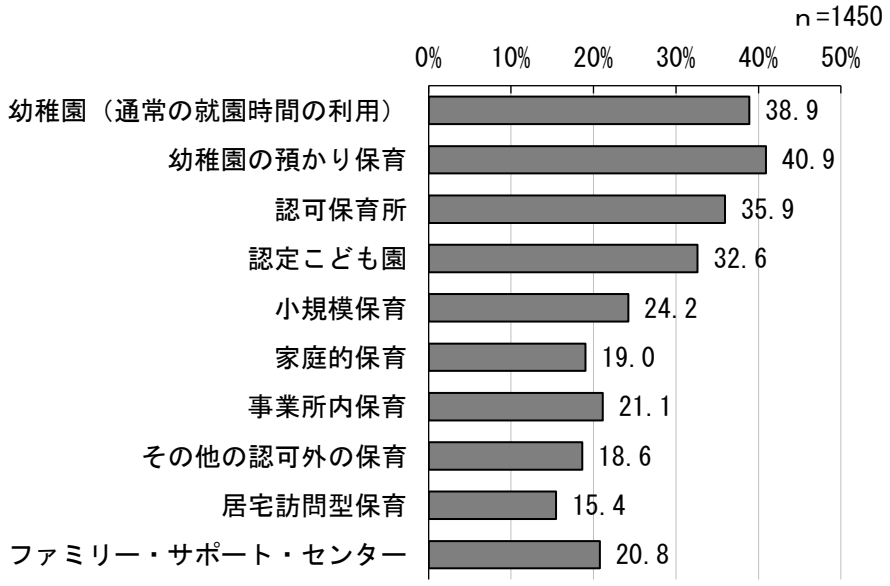
【平日】

平日の教育・保育事業の利用意向は、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 68.6%と最も多く、次いで「認可保育所」が 59.9%、「幼稚園の預かり保育」が 56.1%となっています。



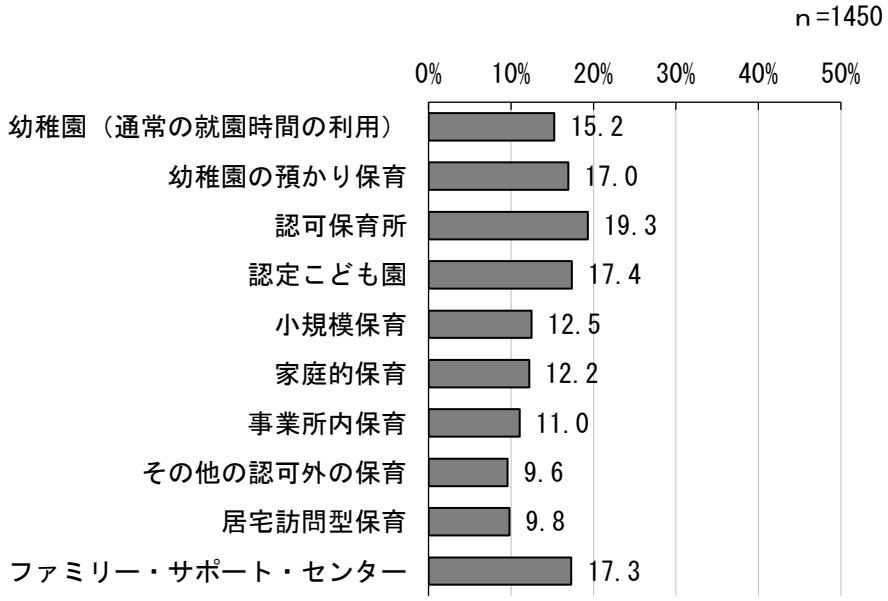
【お子さんの長期休暇期間中】

お子さんの長期休暇期間中の教育・保育事業の利用意向は、「幼稚園の預かり保育」が40.9%と最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 38.9%、「認可保育所」が 35.9%となっています。



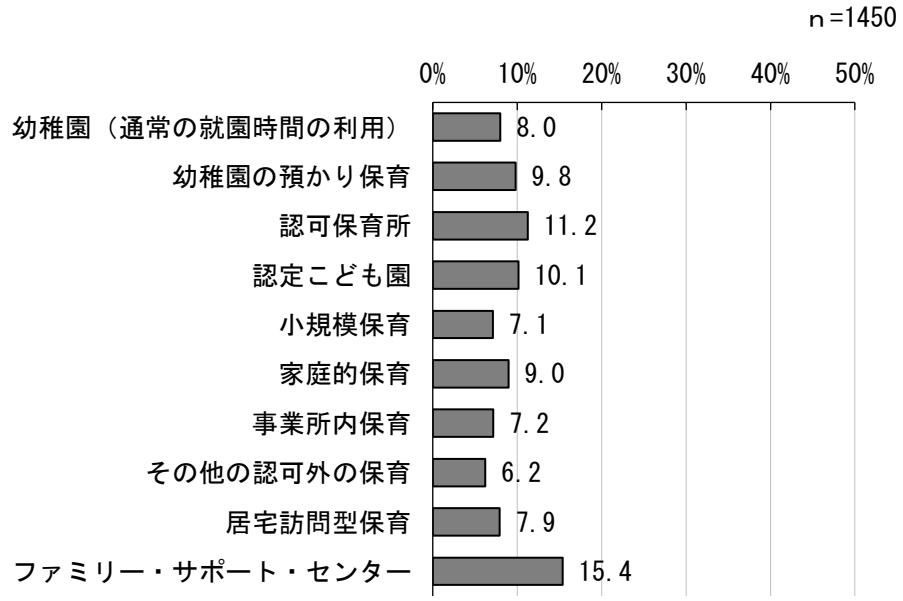
【土曜日】

土曜日の教育・保育事業の利用意向は、「認可保育所」が19.3%と最も多く、次いで「認定こども園」が17.4%、「ファミリー・サポート・センター」が17.3%となっています。



【日曜・祝日】

日曜・祝日の教育・保育事業の利用意向は、「ファミリー・サポート・センター」が15.4%と最も多く、次いで「認可保育所」が11.2%、「認定こども園」が10.1%となっています。

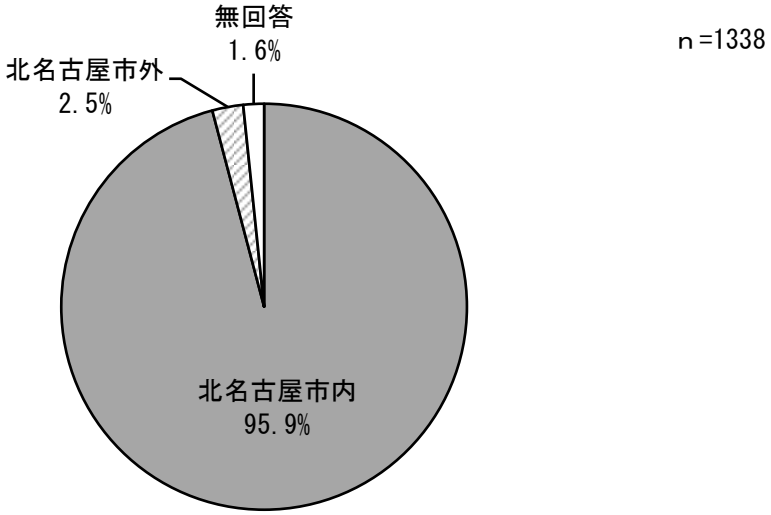


（５）教育・保育施設等を利用したい場所

【問１０で１つでも「１～４」を選んだ方にうかがいます。】

問１１　教育・保育施設等を利用したい場所をお答えください。（当てはまるもの１つに○）

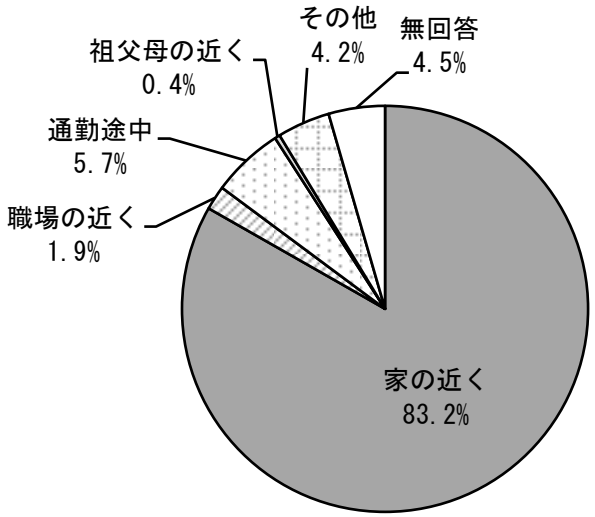
教育・保育施設等を利用したい場所は、「北名古屋市内」が 95.9%、「北名古屋市外」が 2.5%となっています。



（６）教育・保育施設等を利用する際に優先すること

問１２　あなたが教育・保育施設等を選択する上で、優先するものをお答えください。（当てはまるもの１つに○）

教育・保育施設等を選択する上で優先するものは、「家の近く」が83.2%と最も多く、次いで「通勤途中」が5.7%、「その他」が4.2%となっています。



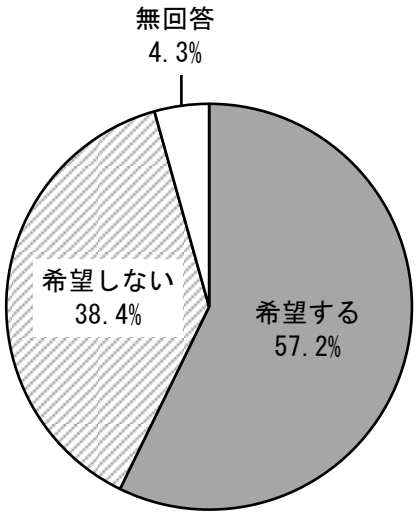
n=1450

【その他】
- ○教育、保育の内容
- ○保育中に得られるもの(教育、食事、人間関係、経験など)
- ○通える範囲内で本人に適していること
- ○障害児なので療育しか利用できない
- ○園の設備、先生の雰囲気、行事の内容
- ○公立かどうか
- ○保育時間、料金
- ○利用条件
- ○本人に合っているかどうか
- ○進学する小学校の学区内であること

（７）幼稚園への入園希望

問１３　幼稚園と保育園の２つが同じ場所にあり、通わせやすさが変わらないとしたら、保育園よりも幼稚園への入園を希望しますか。（当てはまるもの１つに○）

幼稚園への入園希望は、「希望する」が 57.2%、「希望しない」が 38.4%となっています。



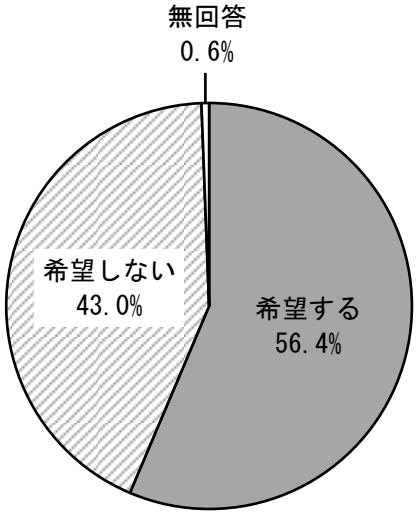
n=1450

（８）自宅から遠い等の理由があった場合の幼稚園の入園希望

【問１３で「１」を選んだ方にうかがいます。】

問１４　幼稚園が保育園よりも多少通わせにくい（自宅から遠い等）場所にあった場合でも、幼稚園への入園を希望しますか。（当てはまるもの１つに○）

自宅から遠い等の理由があった場合の幼稚園の入園希望は、「希望する」が 56.4%、「希望しない」が 43.0%となっています。



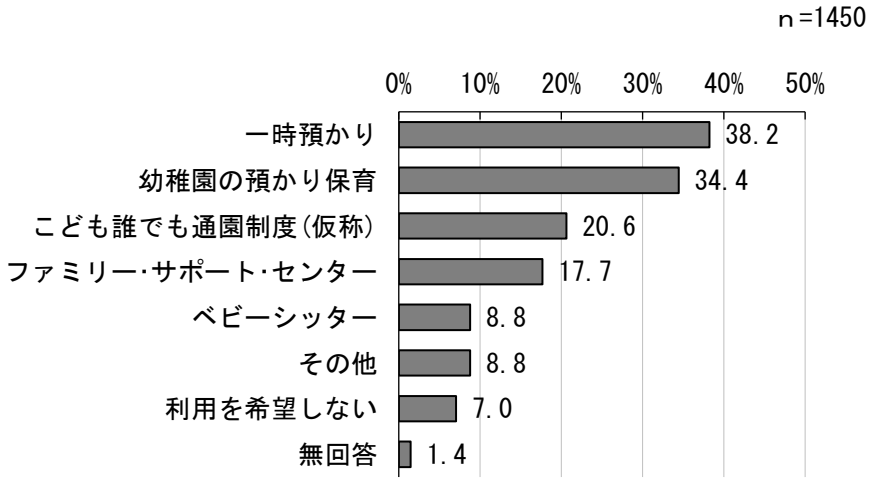
n=830

４　お子さんの「不定期な」教育・保育の利用状況について

（１）「不定期に」利用したい一時預かり事業の有無

問１５　お子さんについて、「不定期に」利用している、または利用したい事業はありますか。（当てはまるものすべてに○）

「不定期に」利用している、または利用したい事業の有無は、「一時預かり」が38.2%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が 34.4%、「こども誰でも通園制度（仮称）」が 20.6%となっています。



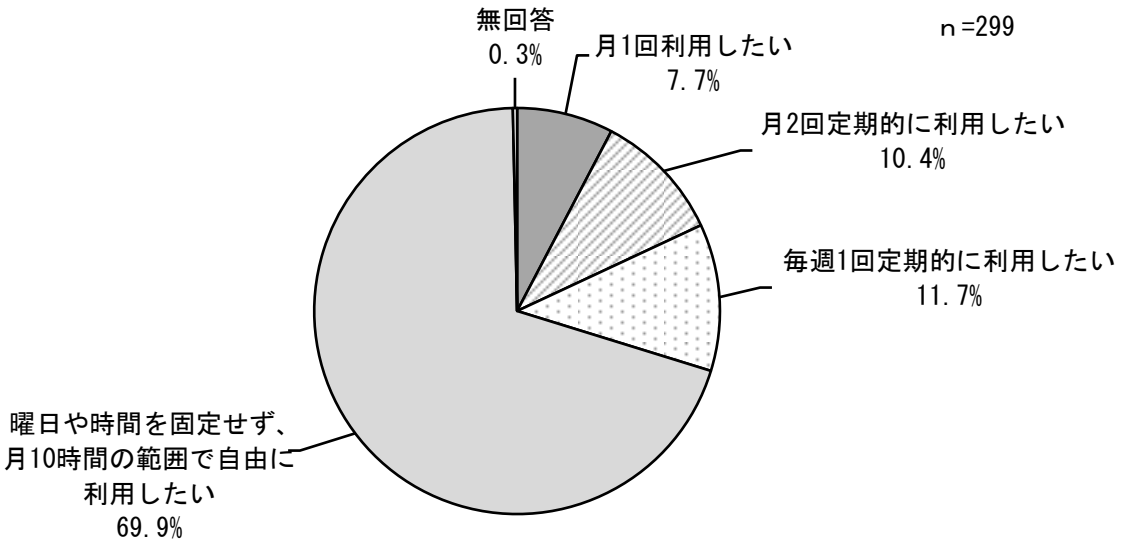
【その他】
キッズタクシー／インターナショナルスクール／児童発達支援事業所／病児保育／療育園／あおぞらアフタースクール／子育て支援センター

（２）こども誰でも通園制度創設の際の利用希望

【問１５で「５」を選んだ方にうかがいます。】

問１６　こども誰でも通園制度が創設された場合、仮に月 10 時間まで定期的に利用が可能だとしたら、どのくらい利用したいですか。（一定の利用者負担が発生する場合があります。）（当てはまるもの１つに○）

こども誰でも通園制度創設の際の利用希望は、「曜日や時間を固定せず、月 10 時間の範囲で自由に利用したい」が 69.9%と最も多く、次いで「毎週１回定期的に利用したい」が 11.7%、「月２回定期的に利用したい」が 10.4%となっています。

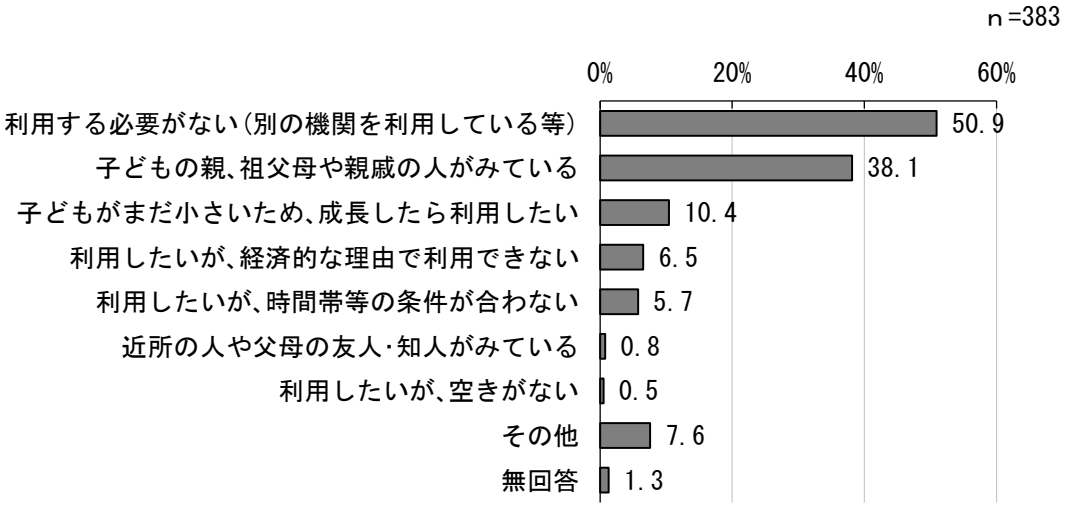


（３）一時預かり事業の利用を希望しない理由

【問１５で「７」を選んだ方にうかがいます。】

問１７　利用を希望しない理由はなんですか。（当てはまるもの１つに○）

一時預かり事業の利用を希望しない理由は、「利用する必要がない（別の機関を利用している等）」が 50.9%と最も多く、次いで「子どもの親、祖父母や親戚の人がみている」が 38.1%、「子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい」が 10.4%となっています。



【その他】

○手続きが面倒で使いづらい。
○用事などは幼稚園行っている間にできるし、唯一一緒にいられる時間をわざわざ預けてまでは考えてないため
○障害児なので療育しか利用できない
○ＤＢＳが整うまで信用できないため
○親または親族でみることが現在可能であり、フルタイム共働きの親のため可能な限り子どもといたいため
○預けるのが不安
○保育園に入れれば良いから
○保育施設での不適切保育等の報道が多々あり信用できないため
○よく知らない人に子どもを預けたくない。
○子どもが行きたがらない

５　お子さんの子育て支援事業の利用状況について

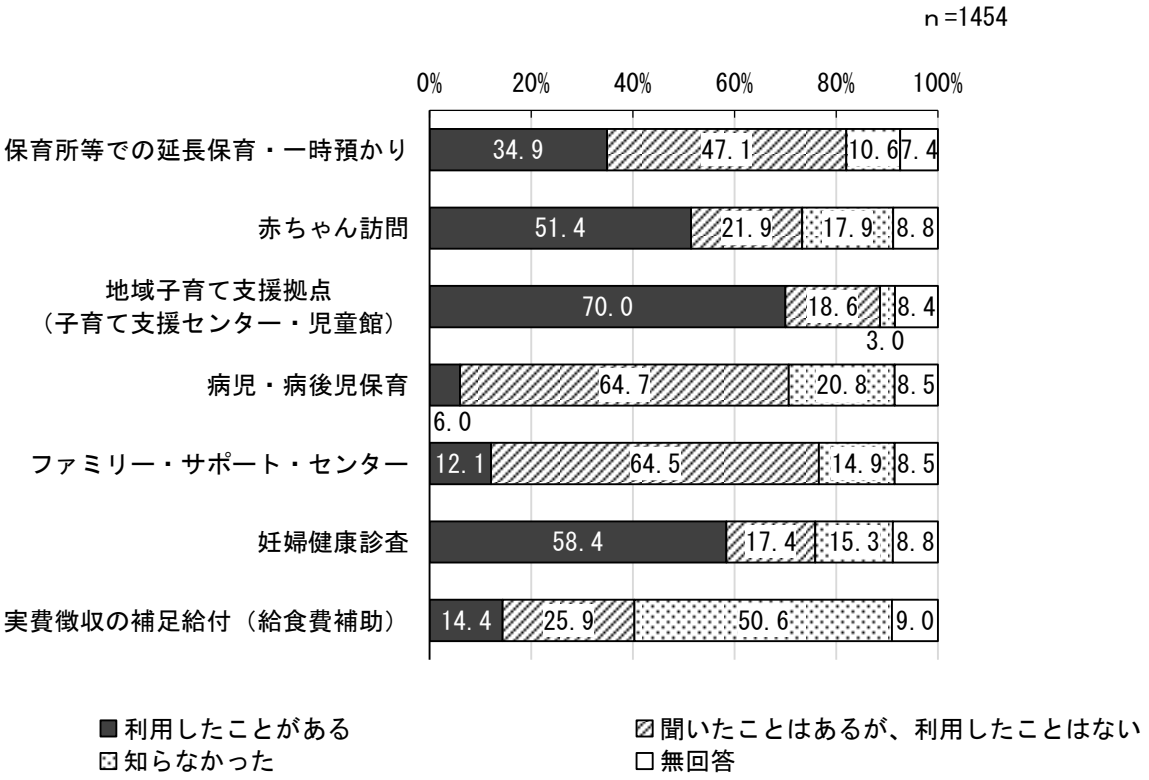
（１）地域子育て支援事業の認知度と利用状況

問１８　現在北名古屋市では、以下の地域子ども・子育て支援事業を行っています。これらの取組を知っていましたか。また、利用したことがありますか。（それぞれ当てはまるもの１つを選択）

地域子ども・子育て支援事業の認知度と利用状況は、「利用したことがある」としては、「地域子育て支援拠点（子育て支援センター・児童館）」が70.0%と最も多く、次いで「妊婦健康診査」が 58.4%、「赤ちゃん訪問」が 51.4%となっています。

「聞いたことはあるが、利用したことはない」としては、「病児・病後児保育」が64.7%と最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が64.5%、「保育所等での延長保育・一時預かり」が 47.1%となっています。

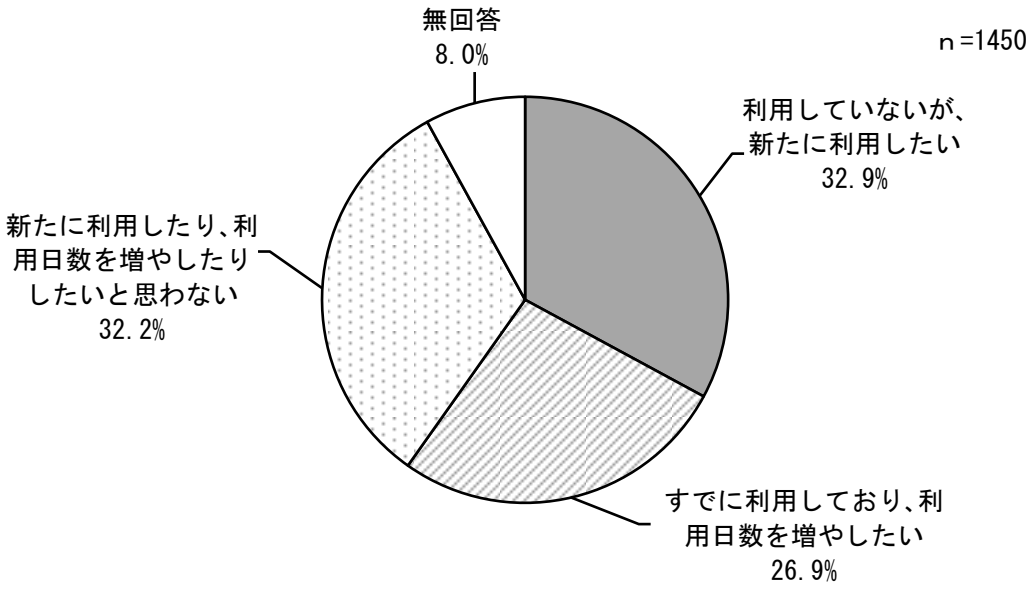
「知らなかった」としては、「実費徴収の補足給付（給食費補助）」が 50.6%と最も多く、次いで「病児・病後児保育」が 20.8%、「赤ちゃん訪問」が 17.9%となっています。



（２）地域子ども・子育て支援拠点事業の利用意向

問１９　地域子育て支援拠点事業（問１８の③の事業）について、今後利用したいと思いますか。（当てはまるもの１つに○）

地域子育て支援拠点事業の利用意向は、「利用していないが、新たに利用したい」が32.9%と最も多く、次いで「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいと思わない」が 32.2%、「すでに利用しており、利用日数を増やしたい」が26.9%となっています。

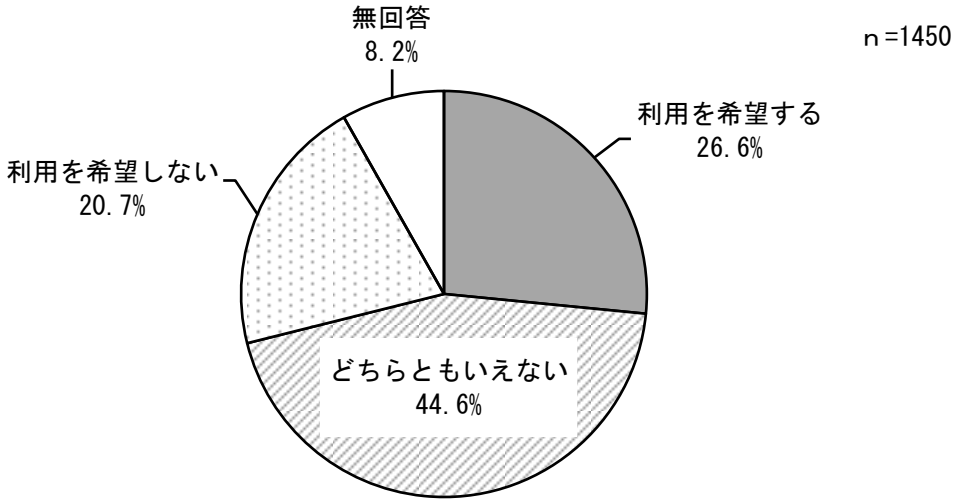


６　お子さんの病気やけがの際の対応について

（１）病気やけがの際の病児・病後児保育の利用意向

問２０　今後、お子さんが病気やけがをされた場合に、病児・病後児保育を利用されますか。（当てはまるもの１つに○）

病気やけがの際の病児・病後児保育の利用意向は、「どちらともいえない」が44.6%と最も多く、次いで「利用を希望する」が26.6%、「利用を希望しない」が20.7%となっています。

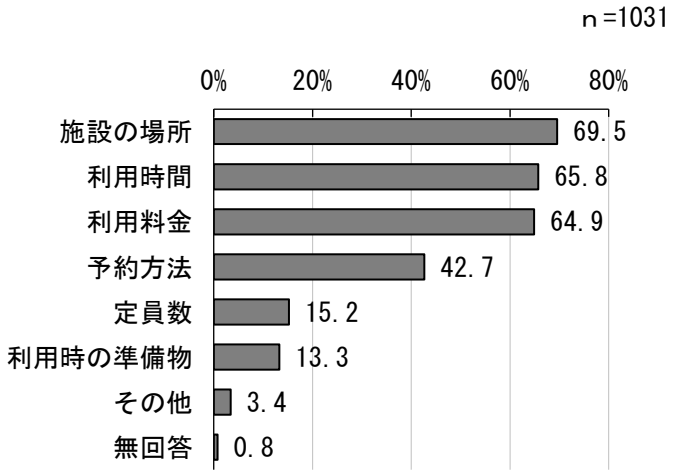


（２）病児・病後児保育の利用時に重視する項目

【問２０で「１～２」を選んだ方にうかがいます。】

問２１　病児・病後児保育を利用される時に重視する項目はなんですか。（上位３つまでに○）

病児・病後児保育の利用時に重視する項目は、「施設の場所」が 69.5%と最も多く、次いで「利用時間」が 65.8%、「利用料金」が 64.9%となっています。

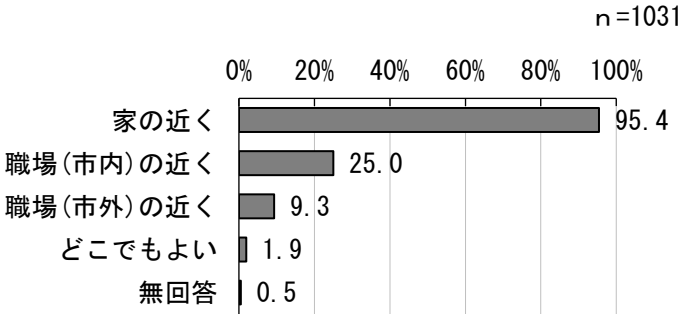


（３）病児・病後児保育施設の利用しやすい場所

【問２０で「１～２」を選んだ方にうかがいます。】

問２２　利用しやすい病児・病後児保育施設の場所はどこですか。（上位２つまでに○）

病児・病後児保育施設の利用しやすい場所は、「家の近く」が95.4%と最も多く、次いで「職場（市内）の近く」が 25.0%、「職場（市外）の近く」が 9.3%となっています。

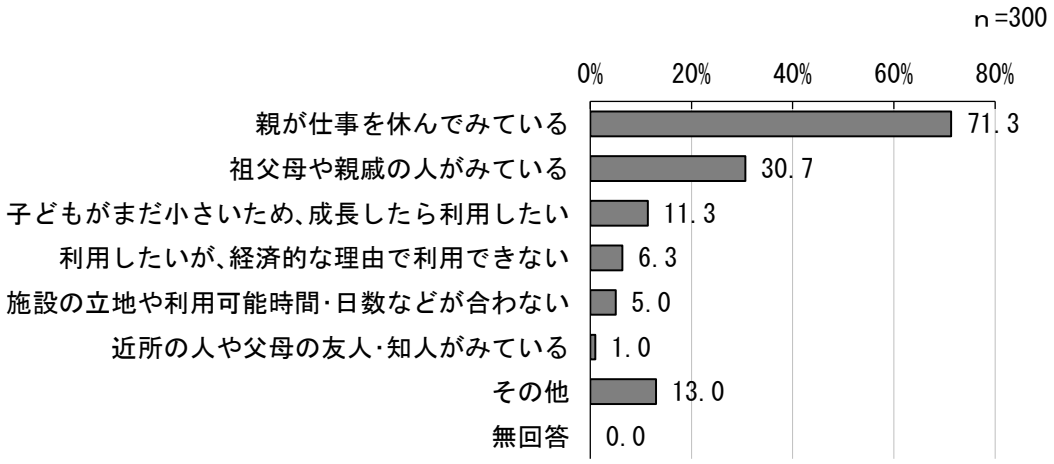


（４）事業を利用したいと思わない理由

【問２０で「３」を選んだ方にうかがいます。】

問２３　利用したいと思わない理由はなんですか。（当てはまるものすべてに○）

病児・病後児保育を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んでみている」が71.3%と最も多く、次いで「祖父母や親戚の人がみている」が 30.7%、「その他」が 13.0%となっています。



【その他】

○信頼性、安全面に不安があるから。
○予約制なのが使いづらい。病期になるのは急なのに予約制では意味がない。
○母親が家で仕事しているため
○お金をかけてまで利用したいと思わないから。
○在宅しながら面倒をみる。当日病児保育に入れるか分からないため。
○子どもの精神面を考え体調不良時は自宅に居たいはずと考えているため
○実態をよく知らないから
○仕事をしてないので自分で見る
○私が車が無いため連れて行けない
○子どもに障害があるので預けるのが不安だから

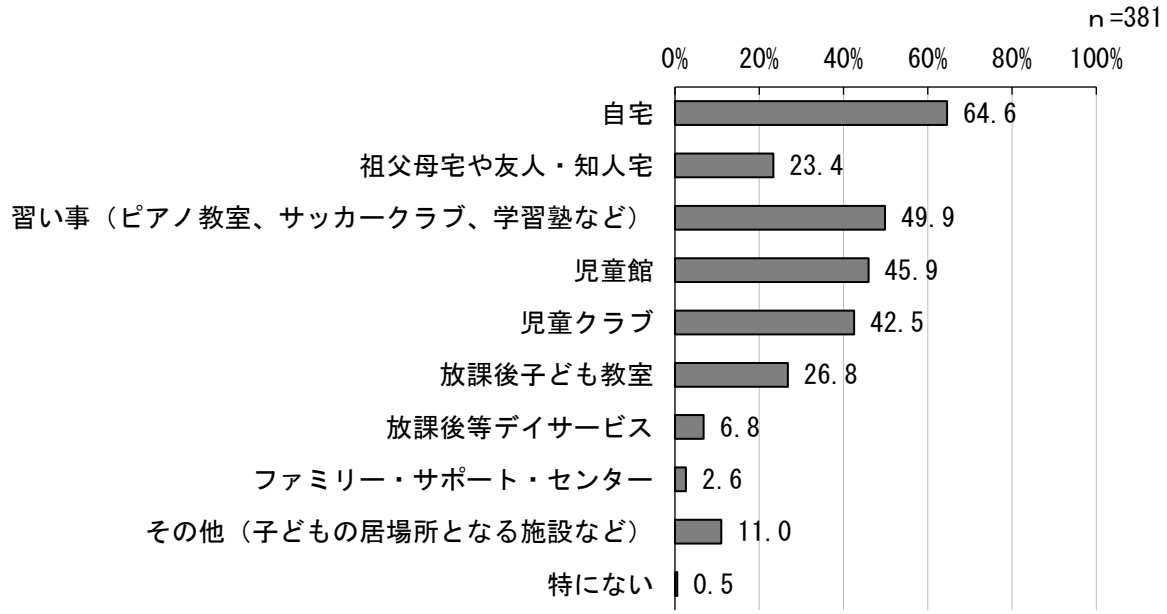
7　小学校就学後の放課後の過ごし方について

（１）低学年の内放課後や休日を過ごさせたい場所

問２４　お子さんについて、小学校低学年（１～３年生）の内は、平日の学校終了後（放課後）や土曜日、日曜・祝日にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（それぞれ当てはまるものすべてに○）

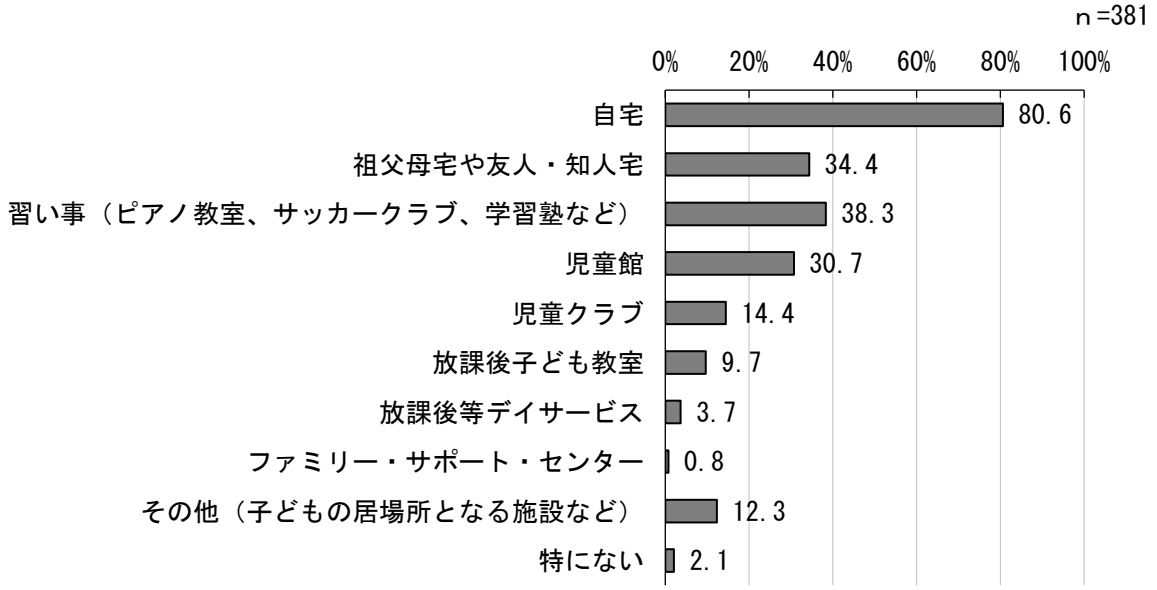
【放課後】

小学校低学年の内放課後に過ごさせたい場所は、「自宅」が64.6%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 49.9%、「児童館」が 45.9%となっています。



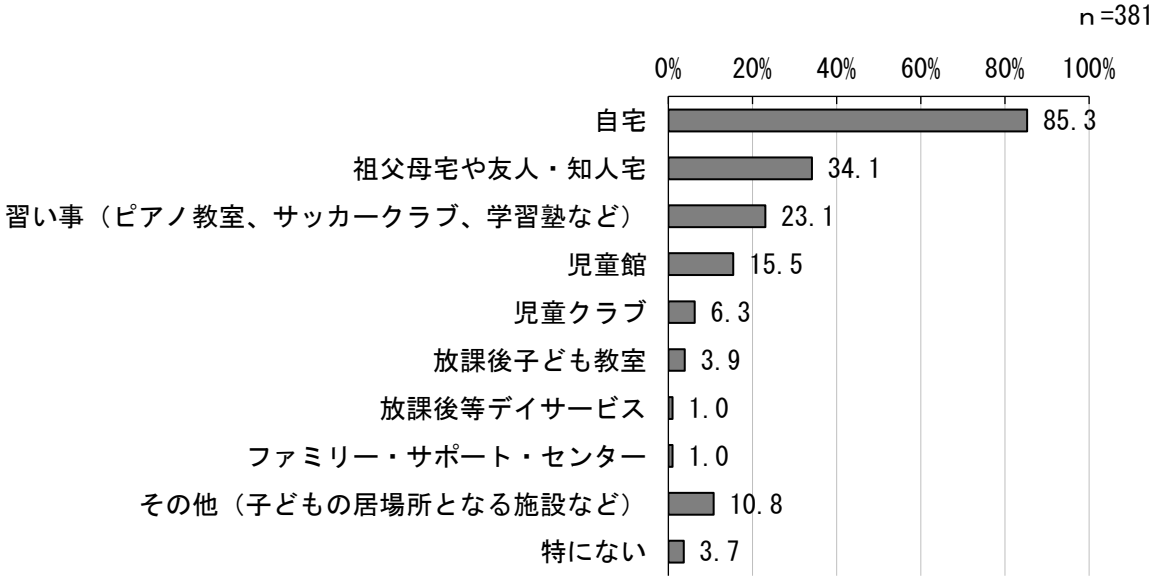
【土曜日】

小学校低学年の内土曜日に過ごさせたい場所は、「自宅」が80.6%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 38.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が34.4%となっています。



【日曜・祝日】

小学校低学年の内日曜・祝日に過ごさせたい場所は、「自宅」が 85.3%と最も多く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」が 34.1%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 23.1%となっています。

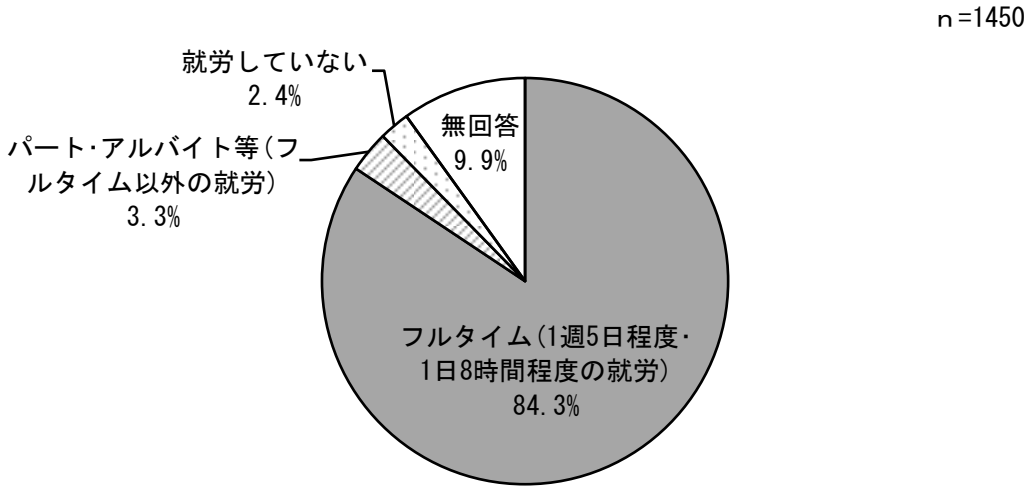


８　保護者の就労状況・職場の両立支援について

（１）父親の就労状況

問２５　現在の就労状況はどれですか。（当てはまるもの１つに○）

父親の就労状況は、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」が 84.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が3.3%、「就労していない」が 2.4%となっています。

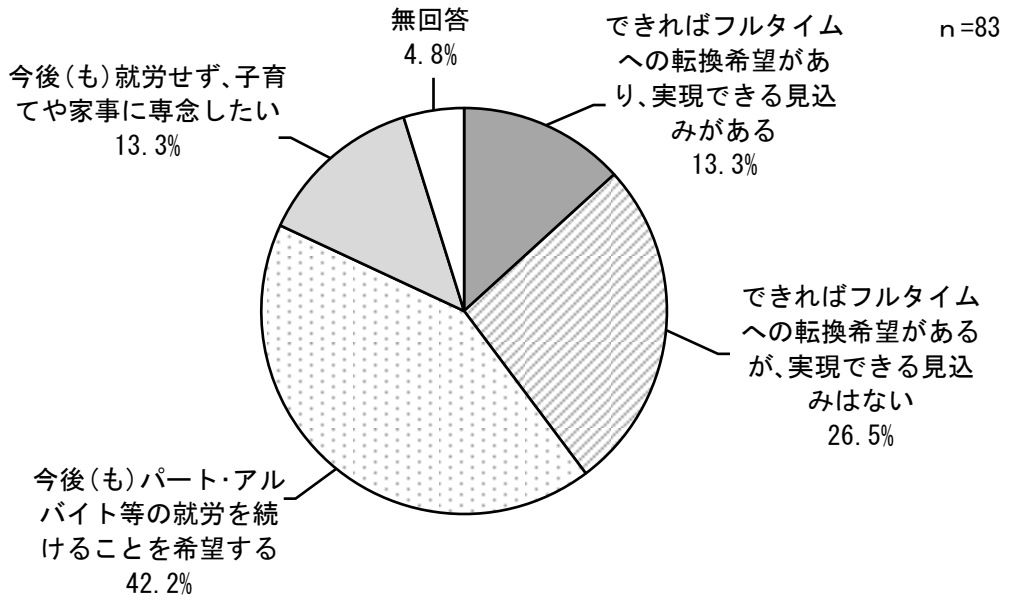


（２）父親の就労時間の転換

【問２５で「２～３」を選んだ方にうかがいます。】

問２６　今後、フルタイム就労への転換を希望されますか。（当てはまるもの１つに○）

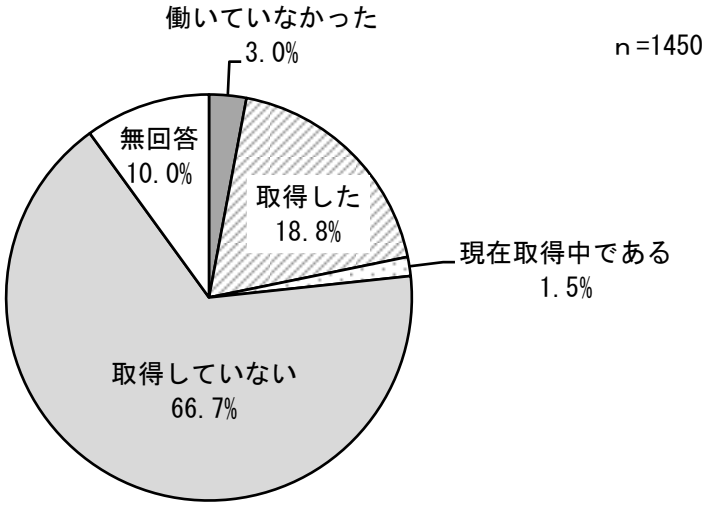
父親のフルタイム就労への転換希望は、「今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が 42.2%と最も多く、次いで「できればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」が26.5%、「できればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「今後（も）就労せず、子育てや家事に専念したい」がそれぞれ 13.3%となっています。



（３）父親の育児休業の取得状況

問２７　お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。（当てはまるもの１つに○）

父親の育児休業の取得状況は、「取得していない」が66.7%と最も多く、次いで「取得した」が18.8%、「働いていなかった」が3.0%となっています。



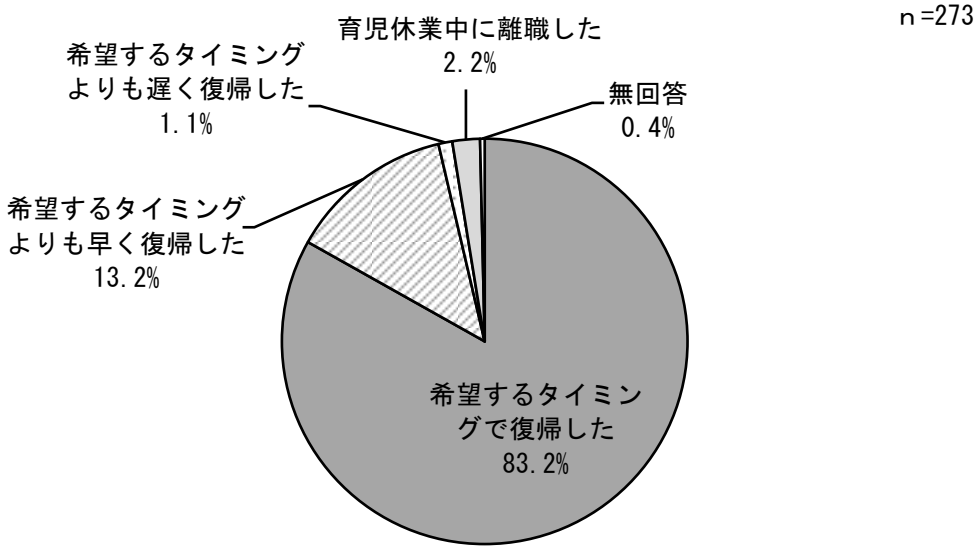
【取得していない理由】
- ○自営業のため
- ○仕事の都合がつかなかったため
- ○母親・祖母が育児をするため
- ○職場が育児休暇を取るなどの話をしてこなかったため
- ○育休制度がない
- ○生活のため
- ○人手不足
- ○転職したばかりだったから
- ○親族の協力が得られたため
- ○上司に相談したが却下された

（４）父親の育児休業後の職場復帰の有無

【問２７で「２」を選んだ方にうかがいます。】

問２８　育児休業後、職場に復帰しましたか。（当てはまるもの１つに○）

父親の育児休業後の職場復帰の有無は、「希望するタイミングで復帰した」が83.2%と最も多く、次いで「希望するタイミングよりも早く復帰した」が13.2%、「育児休業中に離職した」が2.2%となっています。



【希望するタイミングよりも早く復帰した理由】
- ○仕事のスケジュール関係
- ○長く休みがもらえなかったから。
- ○４月ではない途中入園が難しいと予測したため
- ○職場の雰囲気的に取りづらい
- ○経済的、産後ストレス、夫婦関係が悪い、子育てストレス
- ○職場の規定があったため
- ○まだ男性が長く育休を取る雰囲気ではない
- ○夫が同じ職場で働いており、早く復帰してほしいと強い要望があったので仕方なく。
- ○全ての仕事を引き継ぐ人が見つからなかった
- ○保育園の内定をもらうために

【希望するタイミングよりも遅く復帰した理由】
- ○言いたくない
- ○希望している条件の仕事がなかった（派遣会社のため）

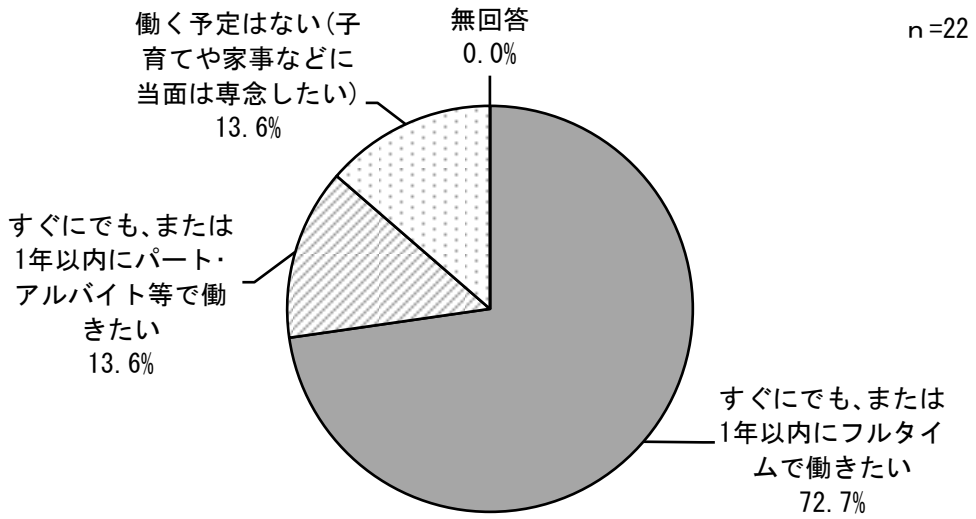
【育児休暇中に離職した理由】
- ○旦那の転勤
- ○会社からの解雇
- ○引っ越したため

（５）父親の今後の就労意向

【問２７で「３」を選んだ方にうかがいます。】

問２９　今後、働きたいとお考えですか。（当てはまるもの１つに○）

父親の今後の就労意向は、「すぐにでも、または１年以内にフルタイムで働きたい」が72.7%と最も多く、次いで「すぐにでも、または１年以内にパート・アルバイト等で働きたい」、「働く予定はない（子育てや家事などに当面は専念したい）」がそれぞれ13.6%となっています。

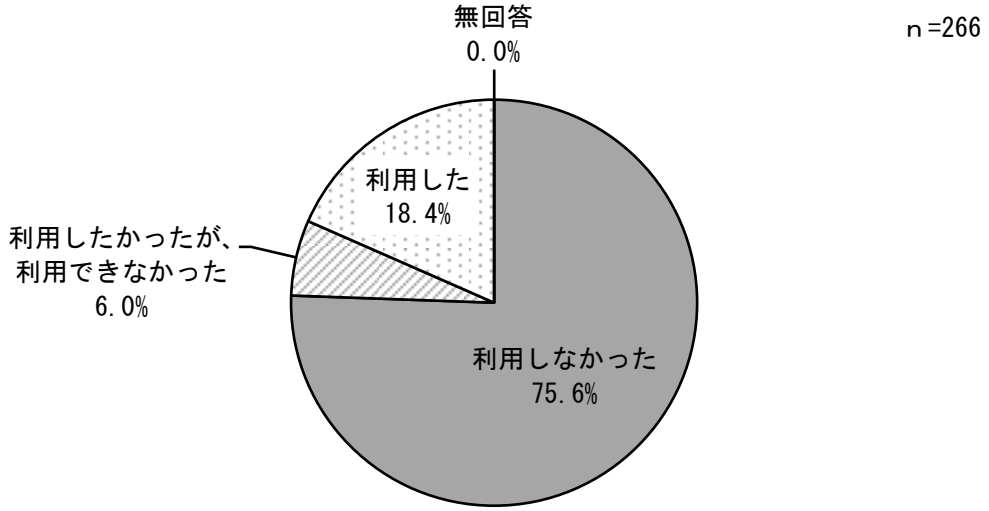


（６）父親の職場復帰後の短時間勤務制度利用の有無

【問２８で「１～３」を選んだ方にうかがいます。】

問３０　職場に復帰した際、短時間勤務制度を利用しましたか。（当てはまるもの１つに○）

父親の職場復帰後の短時間勤務制度利用の有無は、「利用しなかった」が75.6%と最も多く、次いで「利用した」が 18.4%、「利用したかったが、利用できなかった」が 6.0%となっています。



【利用しなかった理由】
- ○父親も時短勤務ができることを知らなかった
- ○自営業だから好きにできた
- ○妻が時短のため
- ○母親が育児をしていたから
- ○給料が安くなるからです
- ○育児休暇を１年とったのでその後の短時間勤務などは必要なかったため
- ○利用できる職種ではない
- ○許される職場ではなかったため
- ○短時間ではなく、残業を無しにした。職場が近いため、保育園の延長保育時間内で送迎ができたため
- ○同居の両親の協力が得られたから。収入を減らしたくないから。

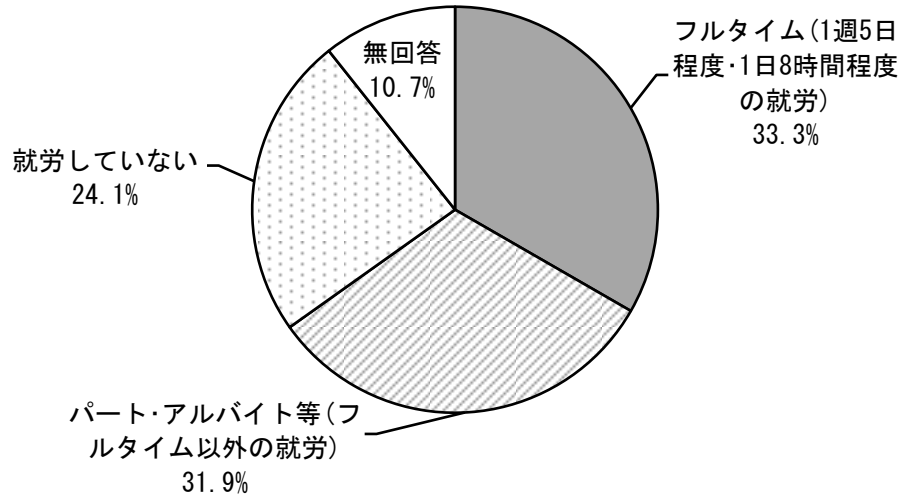
【利用したかったが、できなかった理由】
- ○制度がない
- ○短時間勤務制度を知らなかった
- ○短時間勤務が難しい仕事のため。
- ○単身赴任中だったため短時間勤務ができなかった
- ○会社に言いづらかった
- ○繁忙期だったから
- ○転勤があり、引き継ぎなどや、新しい環境のため、使いにくかった
- ○契約社員だったので
- ○前例がないため

（７）母親の就労状況

問３１　現在の就労状況はどれですか。（当てはまるもの１つに○）

母親の就労状況は、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」が 33.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が 31.9%、「就労していない」が 24.1%となっています。

n=1450

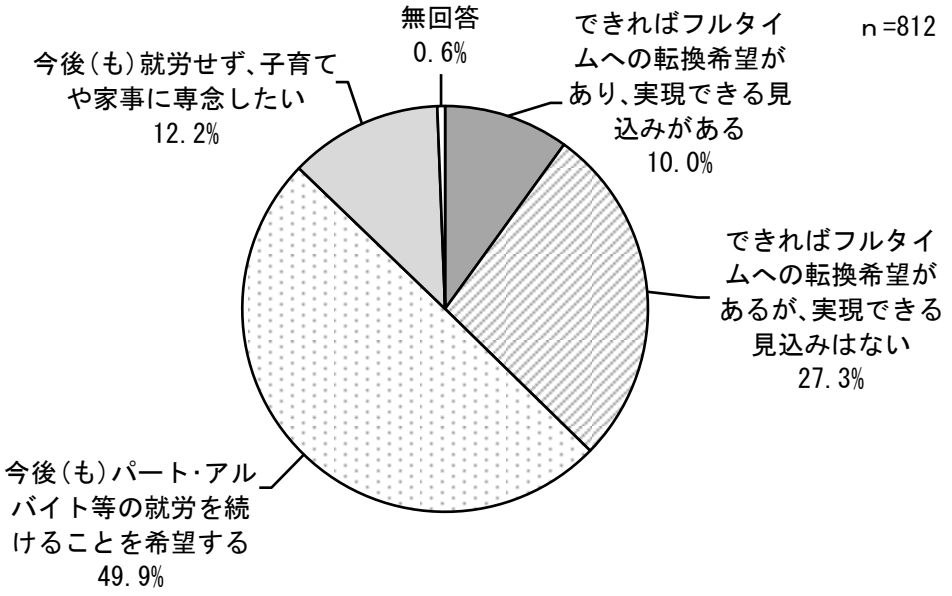


（８）母親の就労時間の転換

【問３１で「２～３」を選んだ方にうかがいます。】

問３２　今後、フルタイム就労への転換を希望されますか。（当てはまるもの１つに○）

母親のフルタイム就労への転換希望は、「今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が 49.9%と最も多く、次いで「できればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 27.3%、「今後（も）就労せず、子育てや家事に専念したい」が 12.2%となっています。

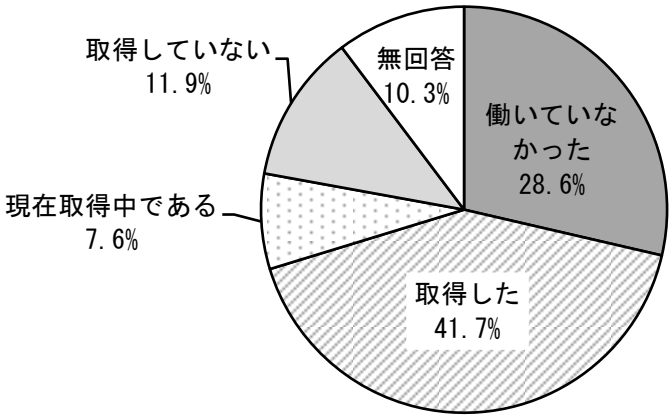


（９）母親の育児休業の取得状況

問３３　お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。（当てはまるもの１つに○）

母親の育児休業の取得状況は、「取得した」が41.7%と最も多く、次いで「働いていなかった」が28.6%、「取得していない」が11.9%となっています。

n=1450



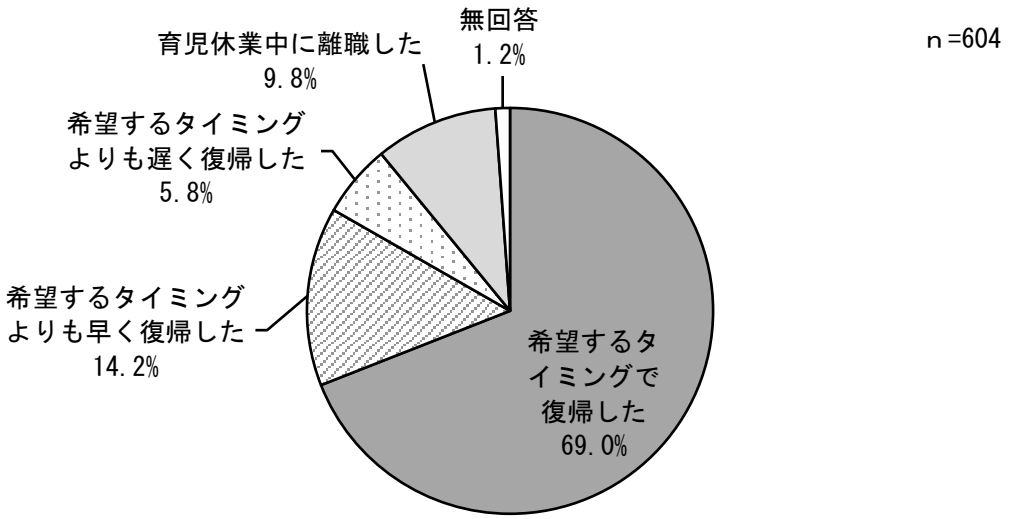
【取得していない理由】
- ○３人目で１人目から連続で取得しており、もう取得できないため
- ○自営業で子どもがいても働けたため
- ○上の子が生まれた時に退職したため。
- ○働いていなかったため
- ○アルバイトのため
- ○退職する意思があったため
- ○制度がなかった
- ○実家家業のため融通が利いた
- ○いくつか掛け持ちをしていて、各事業所で育児休業取得の条件を満たさないため
- ○人手不足

(10) 母親の育児休業後の職場復帰の有無

【問３３で「２」を選んだ方にうかがいます。】

問３４　育児休業後、職場に復帰しましたか。（当てはまるもの１つに○）

母親の育児休業後の職場復帰の有無は、「希望するタイミングで復帰した」が69.0%と最も多く、次いで「希望するタイミングよりも早く復帰した」が14.2%、「育児休業中に離職した」が9.8%となっています。



【希望するタイミングよりも早く復帰した理由】
- ○上の子が保育園退所になってしまうため
- ○在宅ワークだったから。
- ○金銭面
- ○職場が人員不足だったため
- ○４月入園でしか保育園に入れなかったため。
- ○子育てストレス
- ○戻らざるを得ない雰囲気だったから

【希望するタイミングよりも遅く復帰した理由】
- ○０歳の途中入園ができなかった
- ○年齢のキリが良い時期
- ○希望する保育園に入れなかったから
- ○コロナによる登園自粛要請があったため
- ○希望する条件の仕事がなかった
- ○保育園の慣らし保育期間があったため

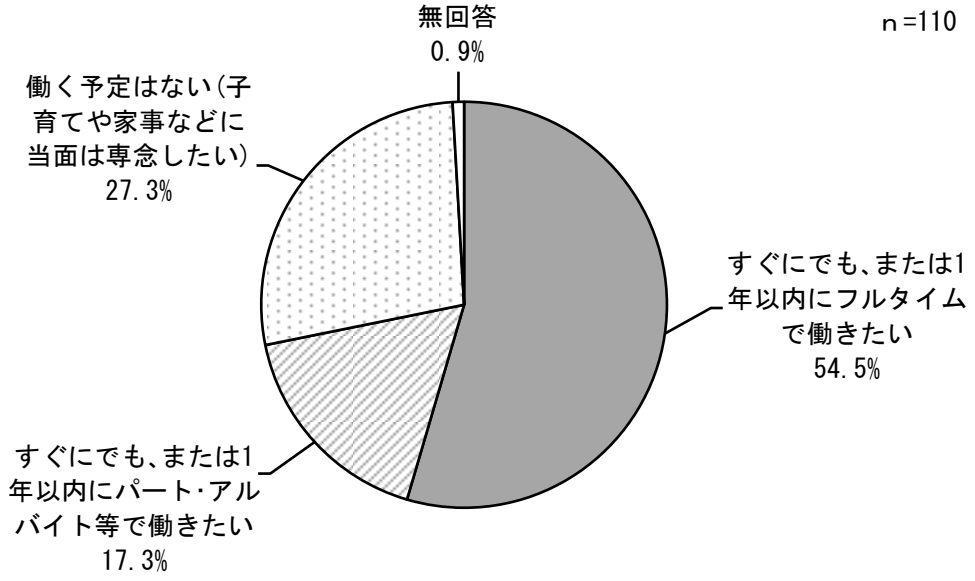
【育児休暇中に離職した理由】
- ○資格を失ったから
- ○希望する保育園に入れなかったため
- ○旦那の転勤
- ○コロナ禍での復帰に不安を覚えた
- ○未就学中は自身で子どもをみたかった
- ○子どもに障害があったため

(11) 母親の今後の就労意向

【問３３で「３」を選んだ方にうかがいます。】

問３５　今後、働きたいとお考えですか。（当てはまるもの１つに○）

母親の今後の就労意向は、「すぐにでも、または１年以内にフルタイムで働きたい」が54.5%と最も多く、次いで「働く予定はない（子育てや家事などに当面は専念したい)」が 27.3%、「すぐにでも、または１年以内にパート・アルバイト等で働きたい」が 17.3%となっています。

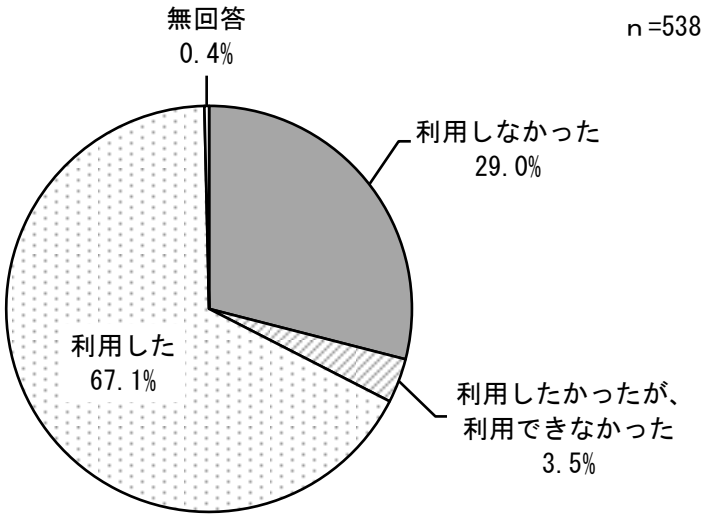


(12) 母親の職場復帰後の短時間勤務制度利用の有無

【問３４で「１～３」を選んだ方にうかがいます。】

問３６　職場に復帰した際、短時間勤務制度を利用しましたか。（当てはまるもの１つに○）

母親の職場復帰後の短時間勤務制度利用の有無は、「利用した」が67.1%と最も多く、次いで「利用しなかった」が 29.0%、「利用したかったが、利用できなかった」が 3.5%となっています。



【利用しなかった理由】
- ○保育園の就労時間などから
- ○職場になにも言われていないから
- ○リモートワークなので
- ○在宅勤務制度があり、時短勤務にしなくても生活が成り立つため
- ○金銭面
- ○その制度が職場に無かったため
- ○知らなかった
- ○職場に理解がなく、祖父母にサポートをお願いしたため。
- ○パートで戻った
- ○自由に就業時間を調整できた

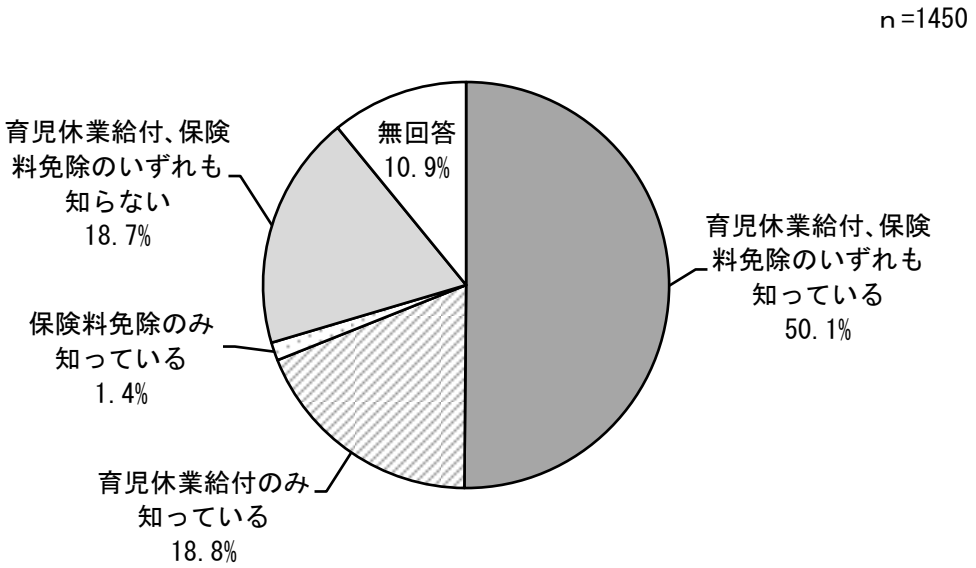
【利用したかったが、できなかった理由】
- ○人員不足のため
- ○パートだったので、収入が減るので
- ○人数が少ない事業所だったため
- ○会社が対応しなかったため
- ○夜勤をしないと正社員として雇用できないと言われたためパートになった。
- ○収入を減らしたくないから。家から近い希望のこども園へ入園するため、就業時間を増やすことで点数を稼ぎ、入園できる可能性を高くしたかったから。
- ○職場の環境と雰囲気
- ○会社の上長命令のため
- ○派遣社員にその様な対応をしてもらえなかった

(13) 育児休業給付・保険料免除制度の認知度

問３７　育児休業給付※１、保険料免除※２について知っていますか。（当てはまるもの１つに○）

※１　子どもが原則１歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み（一定の要件を満たす場合は１歳６か月）
※２　子どもが満３歳になるまでの育児休業等の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

育児休業給付・保険料免除制度の認知度は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っている」が 50.1%と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っている」が 18.8%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らない」が 18.7%となっています。

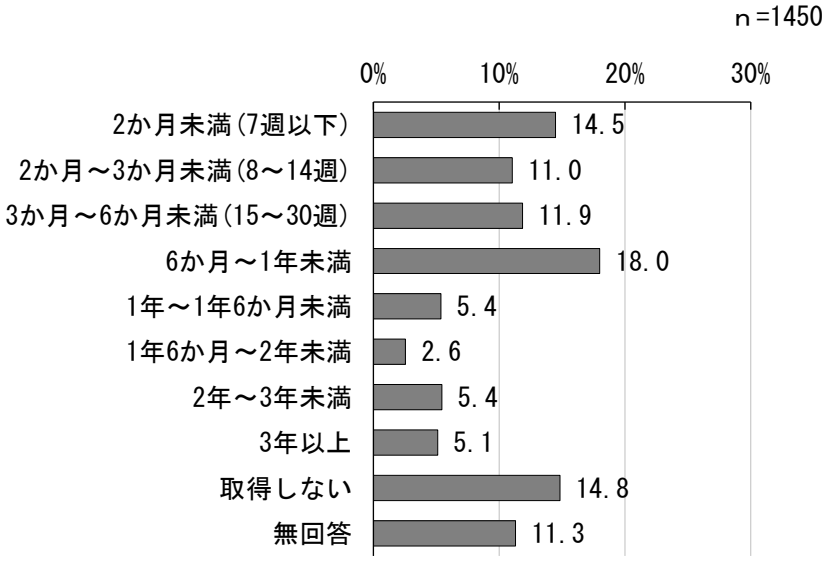


(14) 育児休業を取得する場合の期間

問３８　あなたは育児休業が取れるならいつまで取得したいですか。（それぞれ当てはまるもの１つに○）

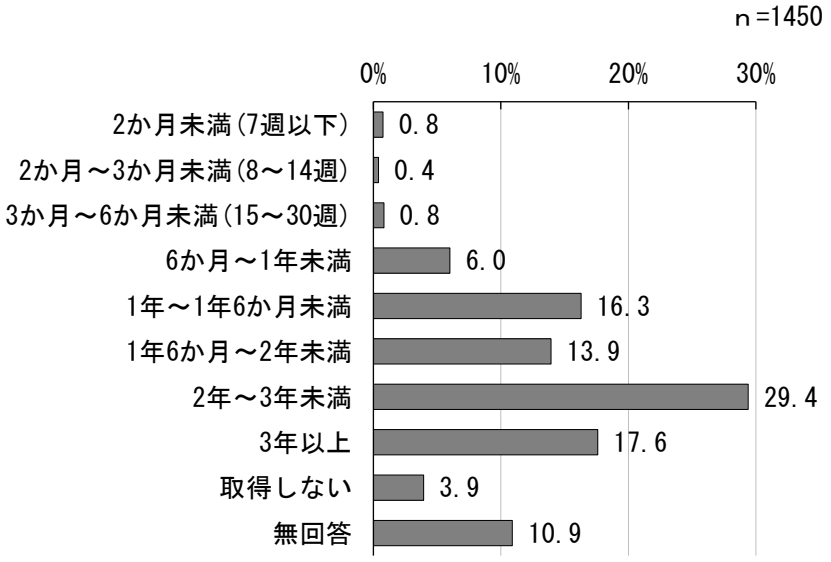
【父親の意見】

育児休業を取得する場合の期間は、父親の意見としては、「６か月～１年未満」が18.0%と最も多く、次いで「取得しない」が 14.8%、「２か月未満（７週以下）」が 14.5%となっています。



【母親の意見】

育児休業を取得する場合の期間は、母親の意見としては、「２年～３年未満」が29.4%と最も多く、次いで「３年以上」が 17.6%、「１年～１年６か月未満」が 16.3%となっています。

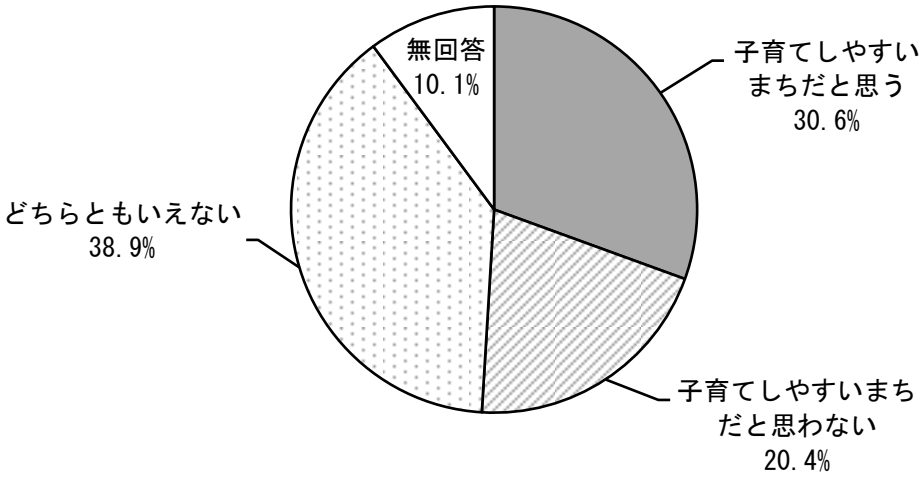


(15) 北名古屋市の子育てのしやすさ

問３９　北名古屋市は子育てしやすいまちだと思いますか。（当てはまるもの１つに○）

北名古屋市は子育てしやすいまちだと思うかは、「どちらともいえない」が38.9%と最も多く、次いで「子育てしやすいまちだと思う」が 30.6%、「子育てしやすいまちだと思わない」が20.4%となっています。

n=1450

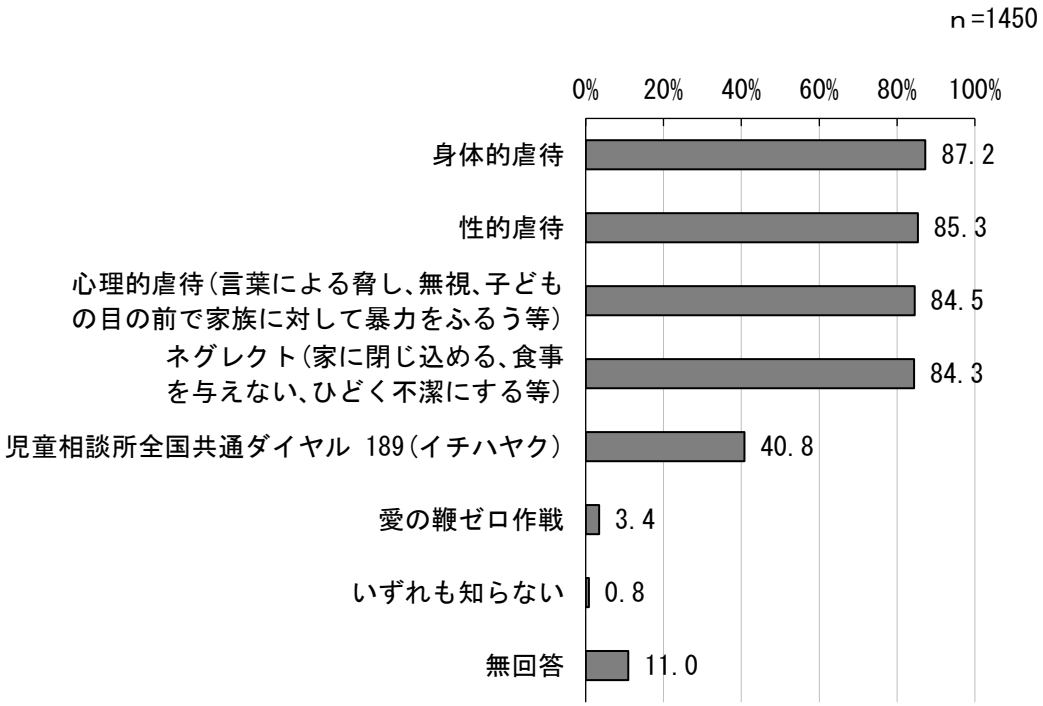


12　児童虐待について

（１）児童虐待について知っていること

問４０　児童虐待について知っていることは何ですか。（当てはまるものすべてに○）

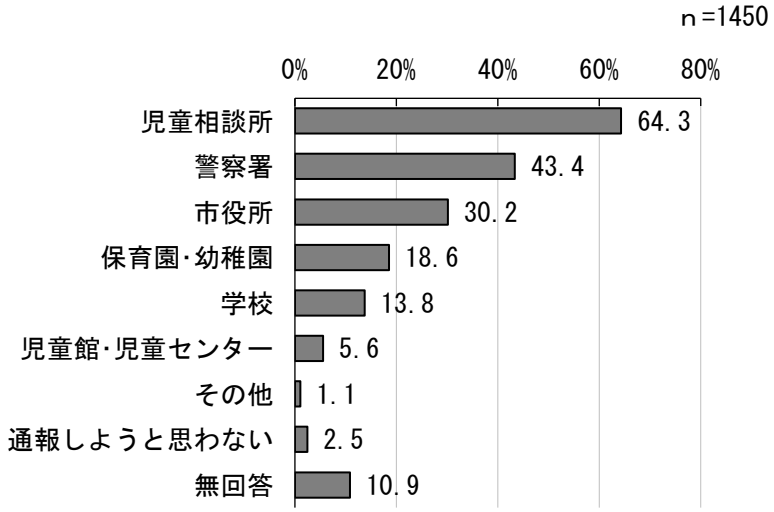
児童虐待について知っていることは、「身体的虐待」が87.2%と最も多く、次いで「性的虐待」が85.3%、「心理的虐待（言葉による脅し、無視、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう等）」が84.5%となっています。



（２）児童虐待を見聞きした際の通報場所

問４１　児童虐待を見聞きした場合には、どちらに通報しようと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

児童虐待を見聞きした際の通報場所は、「児童相談所」が64.3%と最も多く、次いで「警察署」が43.4%、「市役所」が30.2%となっています。



13　貧困関係

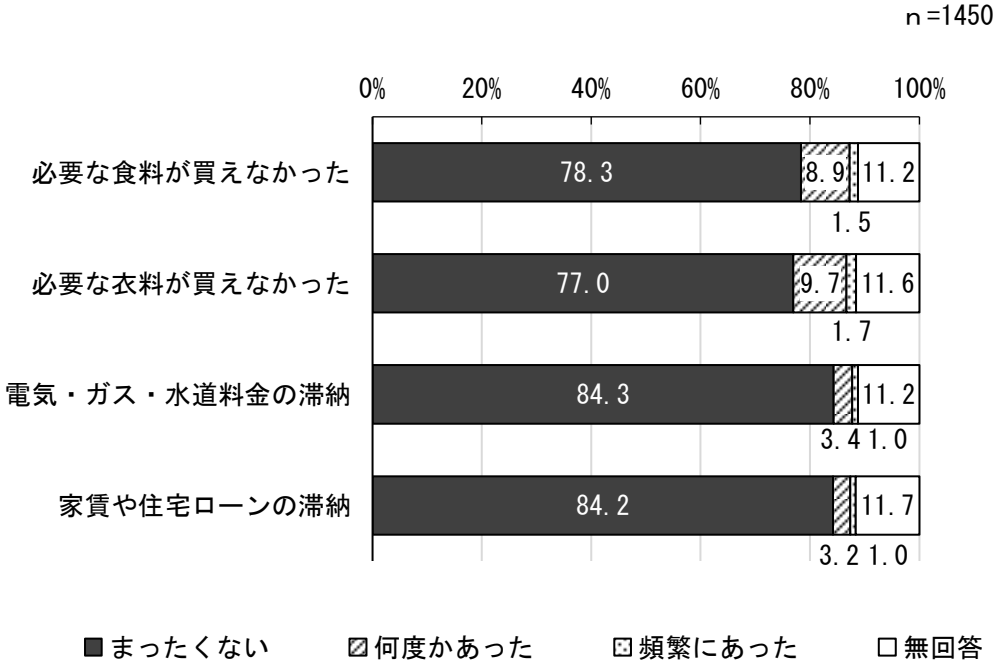
（１）経済的に行えなかった経験

問４２　あなたの世帯では、過去１年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。（それぞれ当てはまるもの１つに○）

経済的な理由による経験は、「まったくない」としては、「電気・ガス・水道料金の滞納」が84.3%と最も多く、次いで「家賃や住宅ローンの滞納」が84.2%、「必要な食料が買えなかった」が78.3%となっています。

「何度かあった」としては、「必要な衣料が買えなかった」が 9.7%と最も多く、次いで「必要な食料が買えなかった」が 8.9%、「電気・ガス・水道料金の滞納」が 3.4%となっています。

「頻繁にあった」としては、「必要な衣料が買えなかった」が 1.7%と最も多く、次いで「必要な食料が買えなかった」が 1.5%、「電気・ガス・水道料金の滞納」、「家賃や住宅ローンの滞納」がそれぞれ1.0%となっています。



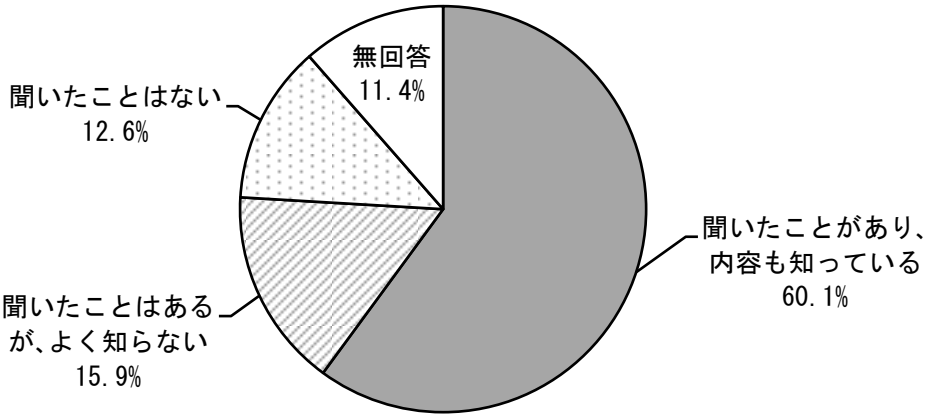
14　ヤングケアラー関係

（１）ヤングケアラーの認知

問４３　あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。

ヤングケアラーの認知は、「聞いたことがあり、内容も知っている」が60.1%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が 15.9%、「聞いたことはない」が 12.6%となっています。

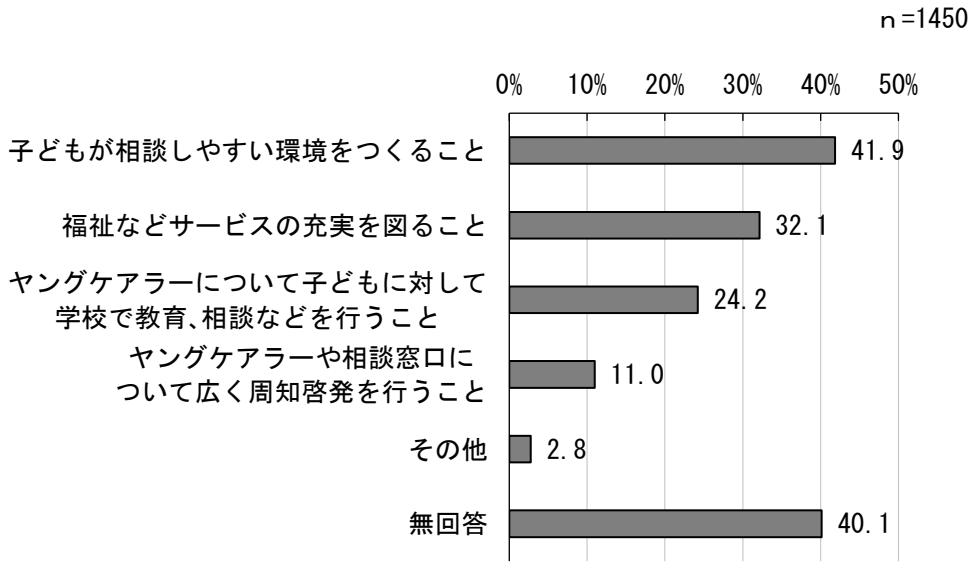
n=1450



（２）ヤングケアラーへの支援で必要だと思う支援

問４４　ヤングケアラーへの支援として必要なことはどんなことだと思いますか。（上位２つまでに○）

ヤングケアラーへの支援で必要だと思うことは、「子どもが相談しやすい環境をつくること」が 41.9%と最も多く、次いで「福祉などサービスの充実を図ること」が 32.1%、「子ヤングケアラーについて子どもに対して学校で教育、相談などを行うこと」が 24.2%となっています。



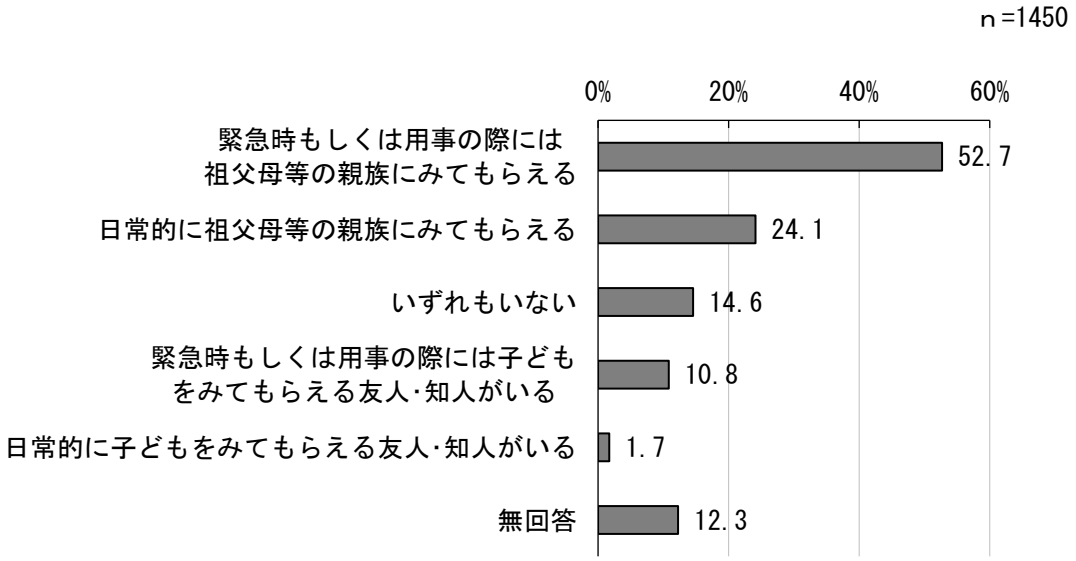
【その他】
- ○ヤングケアラーに気がついた周りの大人が支援できる仕組み(窓口の設置、対処方法を知る機会など)
- ○業務的に仕事しない。
- ○支援を行う市職員への教育と体制を整えること、また支援を執行する権限や他職種との協力体制の確立
- ○自分がヤングケアラーだと気づく教育
- ○少子高齢化が進む限りなくならない
- ○少なくとも高校までは、生活費や学費含め行政でお金の面も含めて、支援すべきである。
- ○大人の都合で手伝いとしてやっているため、障害を持つ大人や兄弟だけでなく、家族全員の役割まで確認してあげなければならない
- ○門前払いではなくちゃんと話を聞き、支援を前提に各所が動くこと
- ○お子さんの支援はもちろん、それに至る経緯に目を向け、親御さんの精神的、金銭的支援も大切にしてほしい。
- ○学び方の多様化。家にいても通信教育が受けられる仕組み。どんな学び方であっても学んだならば単位修得を認めるべき。

11　子どもの育ちを巡る環境について

（１）お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

問４５　日頃、親以外でお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（当てはまるものすべてに○）

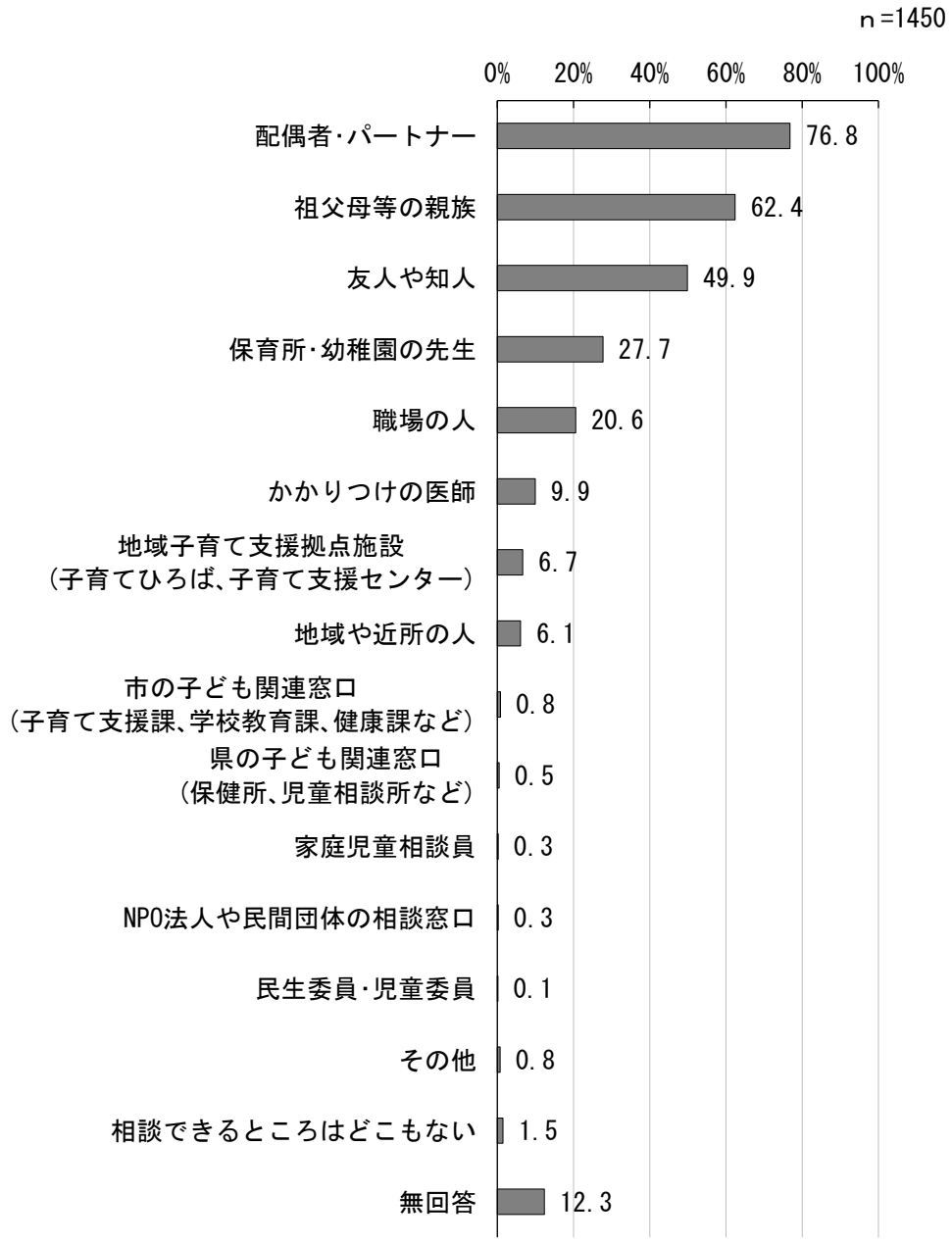
お子さんをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 52.7%と最も多く、次いで「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 24.1%、「いずれもいない」が 14.6%となっています。



（２）子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所

問４６　お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（当てはまるものすべてに○）

子育てについて気軽に相談できる相手・場所は、「配偶者・パートナー」が76.8%と最も多く、次いで「祖父母等の親族」が 62.4%、「友人や知人」が 49.9%となっています。



【その他】

デイサービスの先生／相談したところで結局しなければいけないのは自分／姉／相談したいことがない／ファミサポ／児童発達支援事業所／その時々による／九之坪児童館の先生／相談支援員、言語聴覚士／兄弟

13　さいごに

（1）子育て環境や支援に関するご意見

問４７　北名古屋市の教育・保育環境の充実など、子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

※自由意見については、別にまとめています

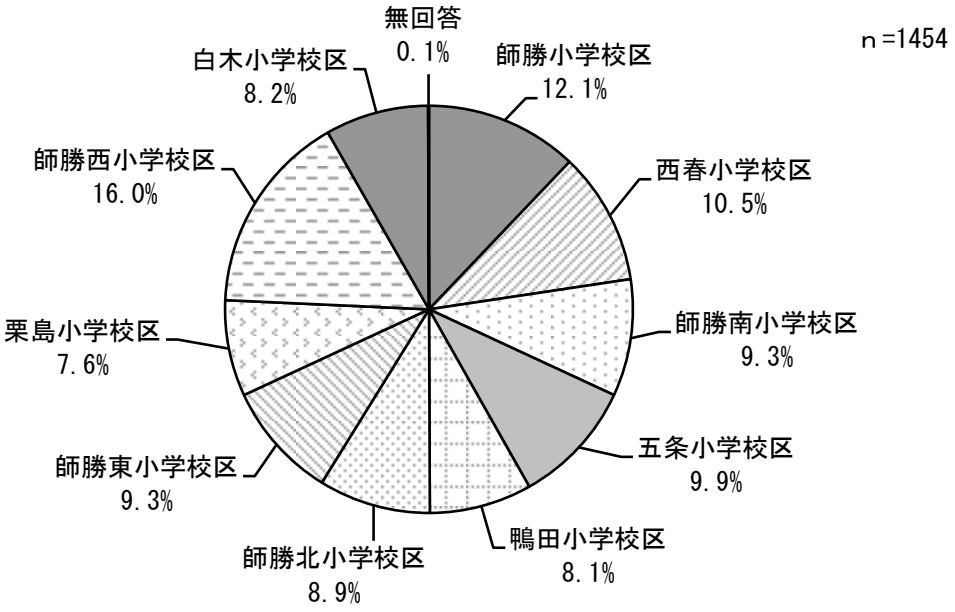
Ⅲ　就学児童のいる世帯の調査結果

１　お住まいの地域について

（１）居住地区

問１　お住まいの小学校区をお答えください。（当てはまるもの１つに○）

居住の小学校区は、「師勝西小学校区」が 16.0%と最も多く、次いで「師勝小学校区」が 12.1%、「西春小学校区」が 10.5%となっています。

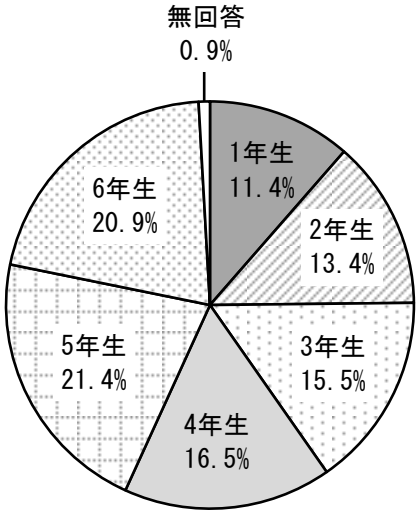


２　お子さんとご家族の状況について

（１）お子さんの学年

問２　宛名のお子さん（以下、お子さんという）の学年（令和６年４月１日現在）をお答えください。（当てはまるもの１つに○）

お子さんの学年は、「５年生」が 21.4%と最も多く、次いで「６年生」が 20.9%、「４年生」が 16.5%となっています。

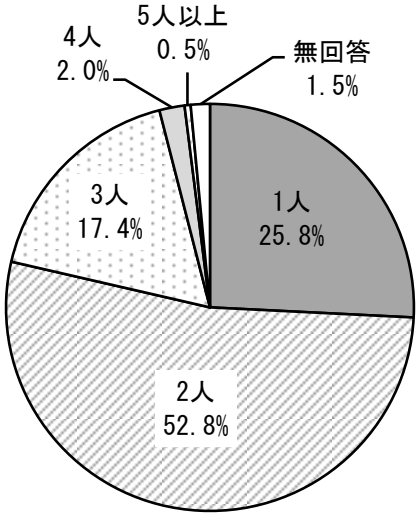


n=1454

（２）お子さんのきょうだいの数

問３　お子さんのきょうだいの数（宛名のお子さんを含めた人数）をお答えください。（当てはまるもの１つに○）

お子さんのきょうだいの数は、「２人」が 52.8%と最も多く、次いで「１人」が 25.8%、「３人」が 17.4%となっています。



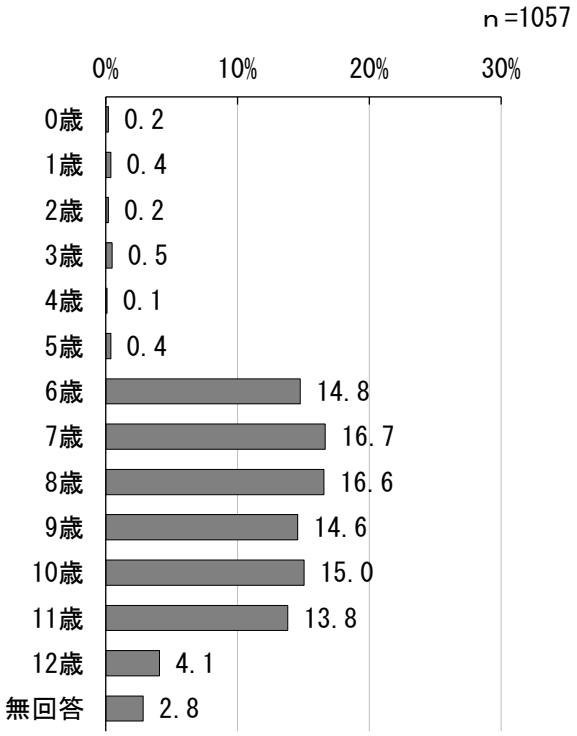
n=1454

（３）末子の年齢

【問３で「２～５」を選んだ方にうかがいます。】

問４　２人以上お子さんがいらっしゃる場合、末子の子の年齢（令和６年４月１日現在）をお答えください。（当てはまるもの１つに○）

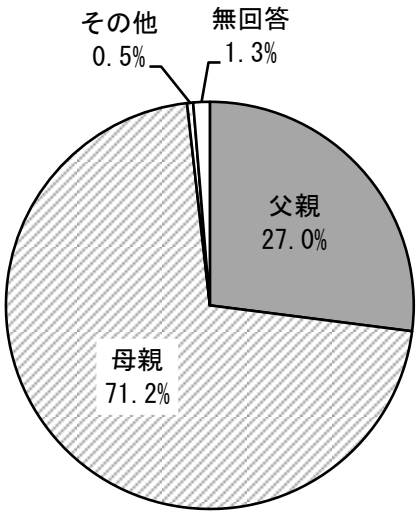
末子の年齢は、「７歳」が 16.7%と最も多く、次いで「８歳」が 16.6%、「10 歳」が 15.0%となっています。



（４）回答者とお子さんの関係

問５　この調査にご回答いただく方はどなたですか。（当てはまるもの１つに○）

回答者とお子さんの関係は、「母親」が 71.2%と最も多く、次いで「父親」が 27.0%、「その他」が 0.5%となっています。



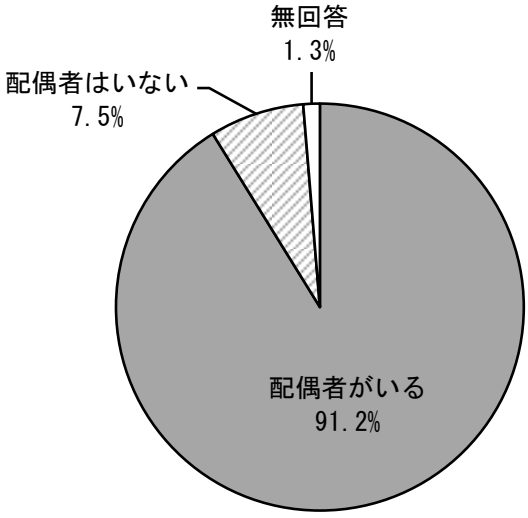
n=1454

【その他】
祖父／12 歳の息子

（５）回答者の配偶関係

問６　この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。（当てはまるもの１つに○）

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が 91.2%、「配偶者はいない」が 7.5%となっています。

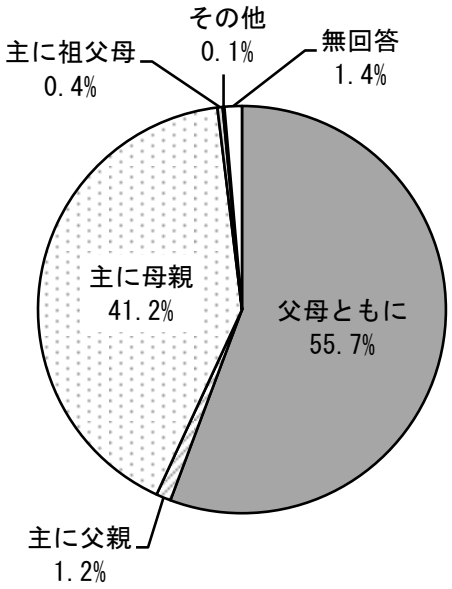


n=1454

（６）お子さんの子育てを主に行っている方

問７　お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方をお答えください。（当てはまるもの１つに○）

お子さんの子育てを主に行っている方は、「父母ともに」が55.7%と最も多く、次いで「主に母親」が41.2%、「主に父親」が1.2%となっています。



n=1454

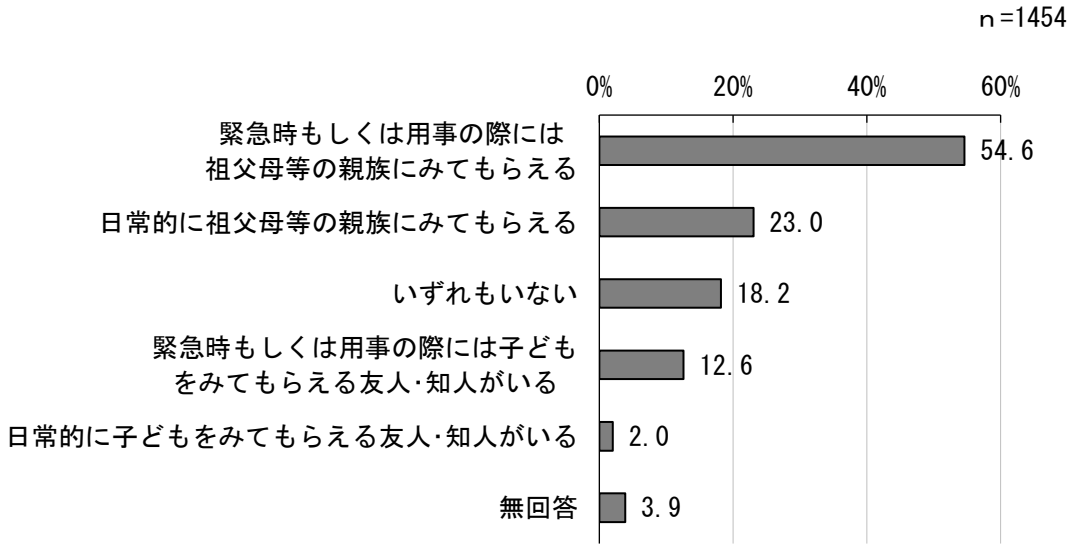
【その他】
父母、祖母

３　子どもの育ちを巡る環境について

（１）お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

問８　日頃、親以外でお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（当てはまるものすべてに○）

お子さんをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 54.6%と最も多く、次いで「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 23.0%、「いずれもいない」が 18.2%となっています。

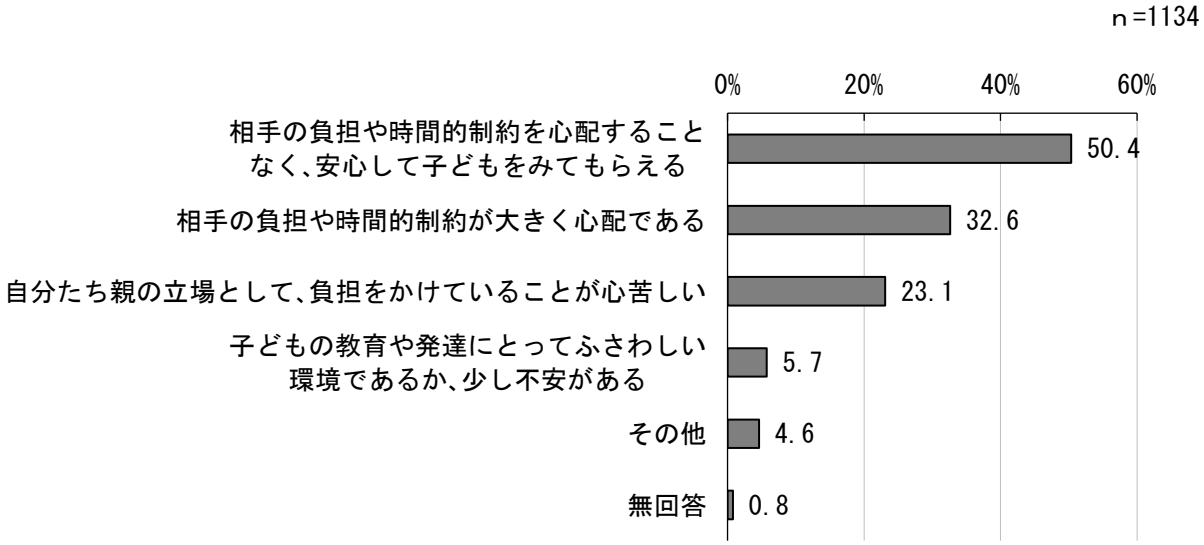


（２）お子さんをみてもらっている状況

【問８で「１～４」を選んだ方にうかがいます。】

問９　親族や知人（お相手）にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
（当てはまるものすべてに○）

お子さんをみてもらっている状況は、「相手の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 50.4%と最も多く、次いで「相手の負担や時間的制約が大きく心配である」が 32.6%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 23.1%となっています。



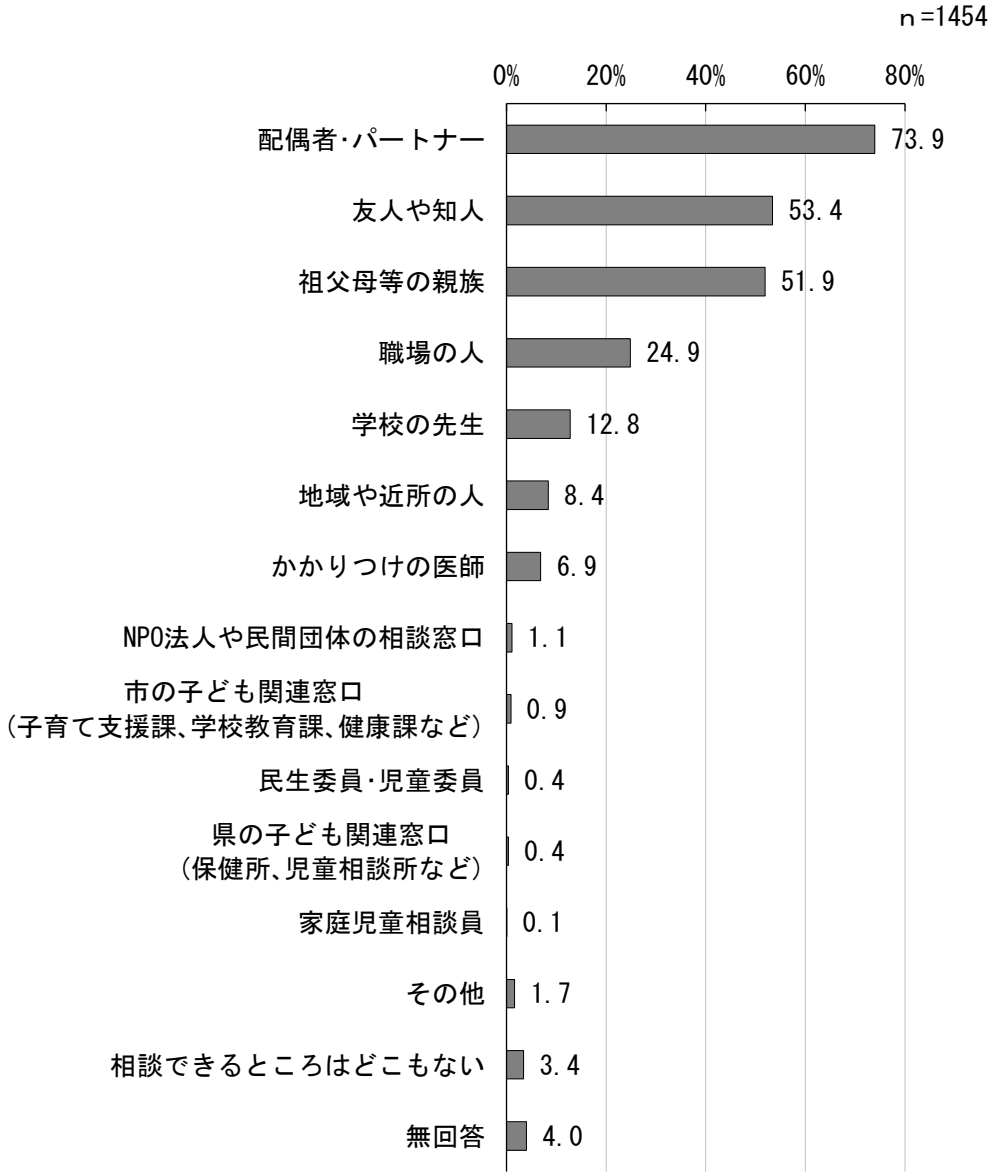
【その他】

○緊急時のみのため今の時点では経験がない
○親も高齢なため子どもたちを見てもらうにも限界があり今後不安がある、また今後、子育と介護が重なることにも不安が大きい
○見てもらう状況になることがほとんどない
○時間的制約のみ気を遣います
○相手の負担を考えて預けている
○近くにいないのですぐに対応できないときがある
○相手の時間と合わせながら、負担の加減を考えて、みてもらっている。
○できるだけ自分たちで見るべき、という配偶者の意向がある
○子どもが留守番をできる年になったので頼むことはほとんどない
○本当にどうしようもない時のみしか、祖父母に助けてもらえない。

（３）子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所

問１０　子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（当てはまるものすべてに○）

子育てに関して気軽に相談できる相手・場所は、「配偶者・パートナー」が73.9%と最も多く、次いで「友人や知人」が53.4%、「祖父母等の親族」が51.9%となっています。



【その他】

スクールカウンセラー／放課後等デイサービス／児童館の先生／療育の先生／元旦那／近くではないが友人／社協さん／主治医（愛知県青い鳥医療療育センター）／かかりつけの児童精神科の臨床心理士／娘(高校生)／塾

（４）子育て環境や支援に関するご意見

問１１　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いとお考えでしょうか。ご自由にご記入ください。

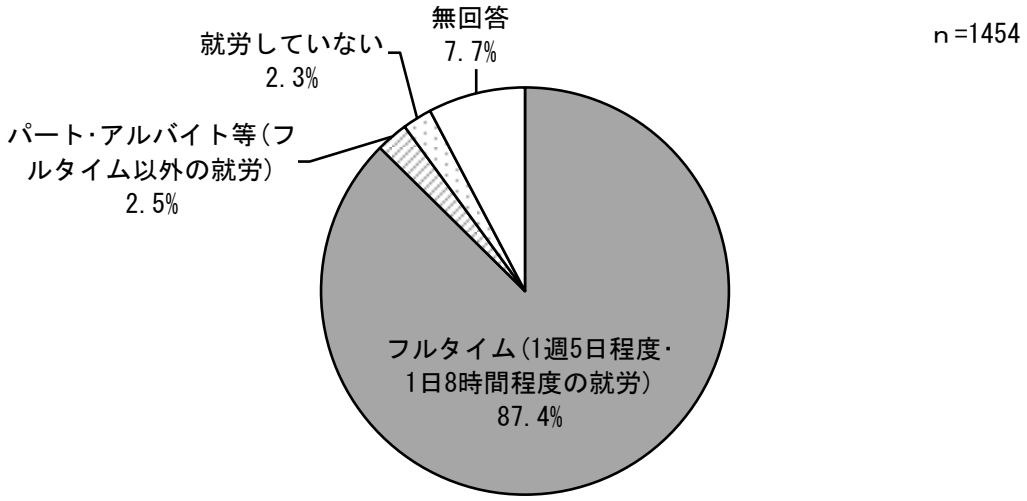
※自由意見については、別にまとめています

４　保護者の就労状況について

（１）父親の就労状況

問１２　現在の就労状況はどれですか。（当てはまるもの１つに○）

父親の就労状況は、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」が 87.4%と最も多く、次いで「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が2.5%、「就労していない」が 2.3%となっています。

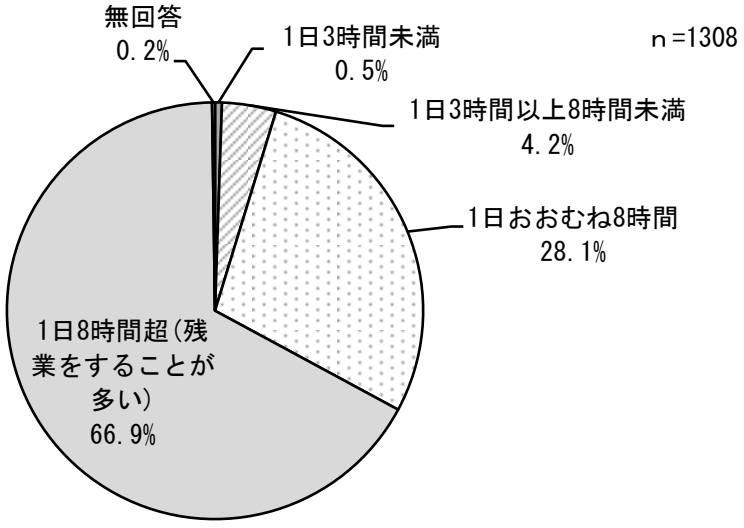


（２）父親の就労時間帯のパターン

【問１２で「１～２」を選んだ方にうかがいます。】

問１３　普段の就労時間について、最も多いパターンはどれですか。（当てはまるもの１つに○）

父親の就労時間のパターンは、「１日８時間超（残業をすることが多い）」が 66.9%と最も多く、次いで「１日おおむね８時間」が 28.1%、「１日３時間以上８時間未満」が 4.2%となっています。

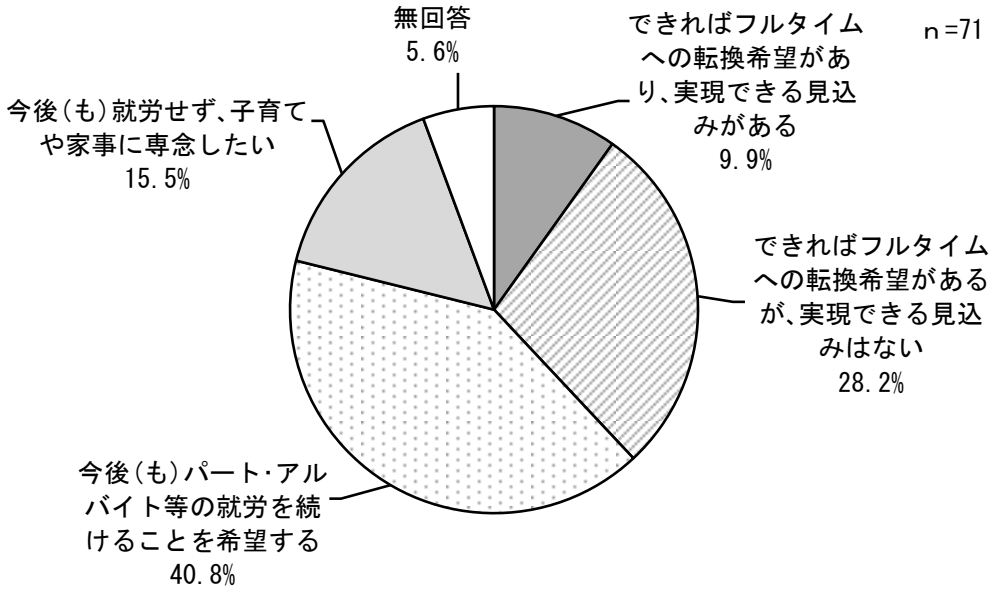


（３）父親の就労時間の転換

【問１２で「２～３」を選んだ方にうかがいます。】

問１４　今後、フルタイム就労への転換を希望されますか。（当てはまるもの１つに○）

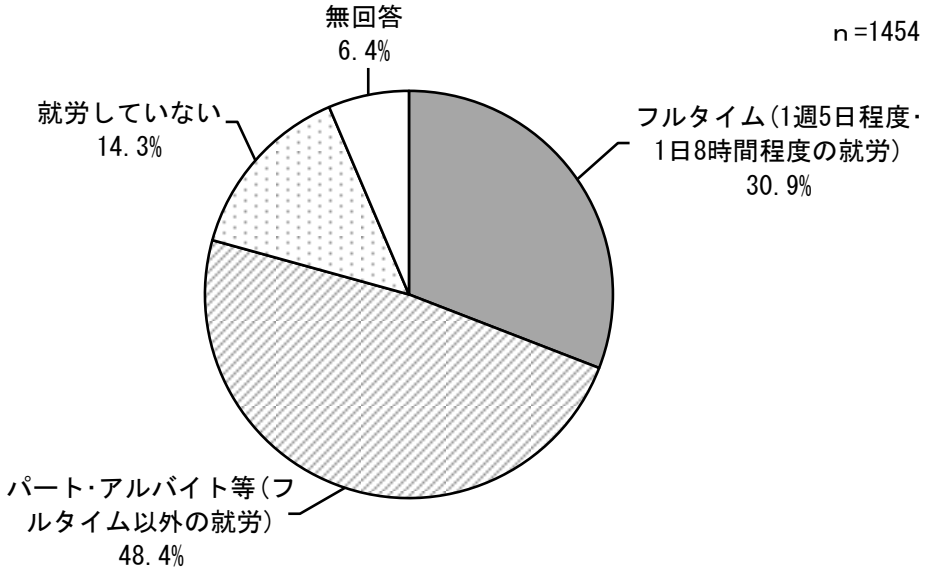
父親のフルタイム就労への転換希望は、「今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が 40.8%と最も多く、次いで「できればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」が 28.2%、「今後（も）就労せず、子育てや家事に専念したい」が 15.5%となっています。



（５）母親の就労状況

問１５　現在の就労状況はどれですか。（当てはまるもの１つに○）

母親の就労状況は、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が 48.4%と最も多く、次いで「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」が 30.9%、「就労していない」が 14.3%となっています。

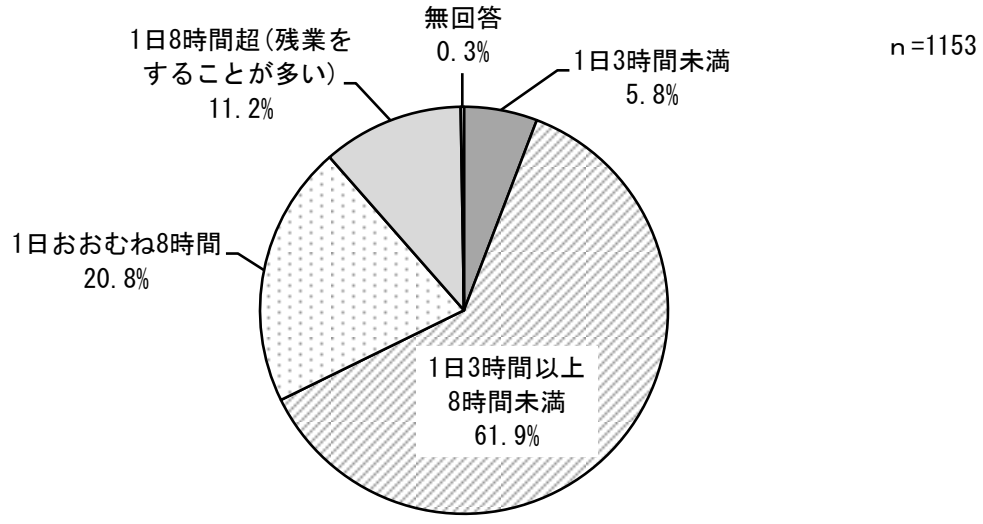


（６）母親の就労時間帯のパターン

【問１５で「１～２」を選んだ方にうかがいます。】

問１６　普段の就労時間について、最も多いパターンはどれですか。（当てはまるもの１つに○）

母親の就労時間のパターンは、「１日３時間以上８時間未満」が 61.9%と最も多く、次いで「１日おおむね８時間」が 20.8%、「１日８時間超（残業をすることが多い）」が 11.2%となっています。

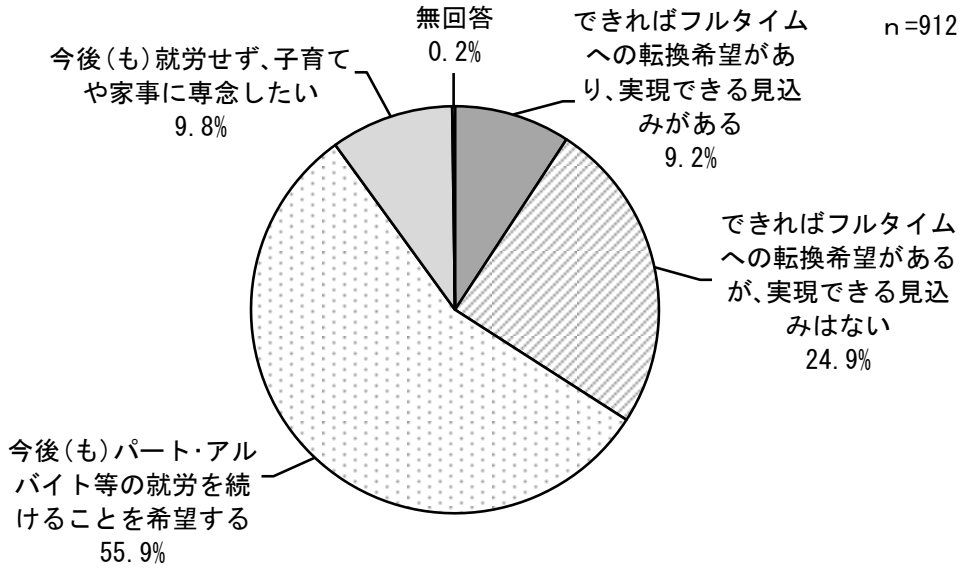


（７）母親の就労時間の転換

【問１５で「２～３」を選んだ方にうかがいます。】

問１７　今後、フルタイム就労への転換を希望されますか。（当てはまるもの１つに○）

母親のフルタイム就労への転換希望は、「今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が 55.9%と最も多く、次いで「できればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」が 24.9%、「今後（も）就労せず、子育てや家事に専念したい」が 9.8%となっています。



５　お子さんの子育て支援事業の利用状況について

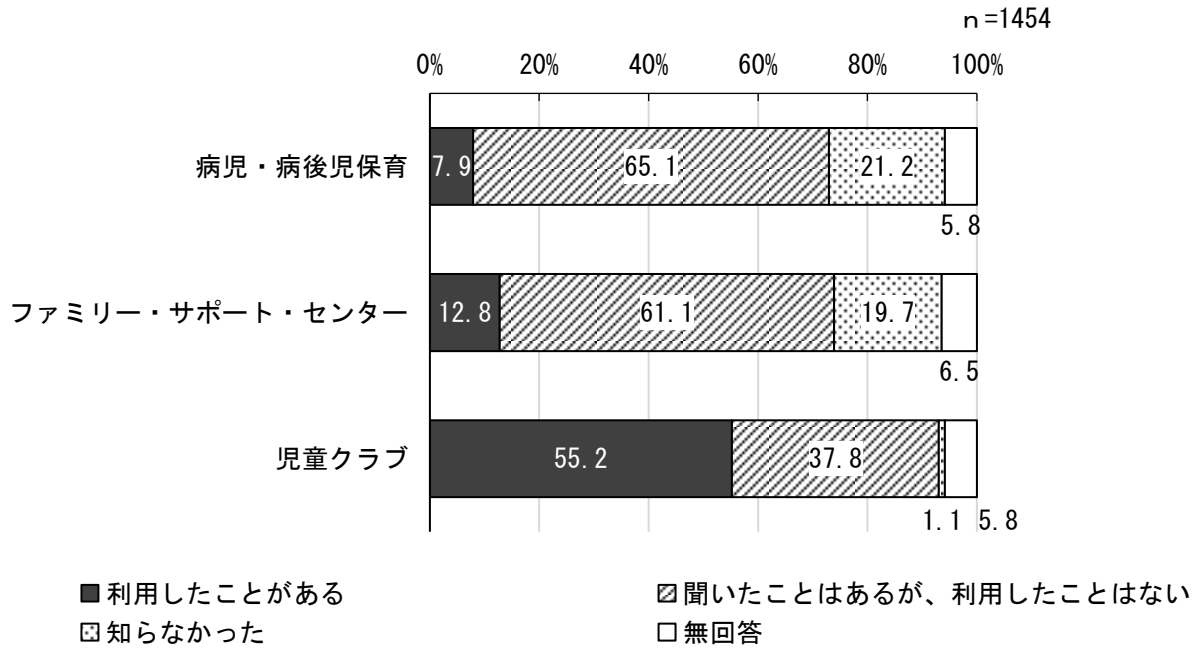
（１）地域子ども・子育て支援事業の認知度と利用状況

問１８　現在北名古屋市では、以下の地域子ども・子育て支援事業を行っています。これらの取組を知っていましたか。また、利用したことがありますか。（それぞれ当てはまるもの１つを選択）

地域子ども・子育て支援事業は、「利用したことがある」としては、「児童クラブ」が 55.2%と最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が 12.8%、「病児・病後児保育」が7.9%となっています。

「聞いたことはあるが、利用したことはない」としては、「病児・病後児保育」が65.1%と最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が 61.1%、「児童クラブ」が 37.8%となっています。

「知らなかった」としては、「病児・病後児保育」が 21.2%と最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が19.7%、「児童クラブ」が1.1%となっています。

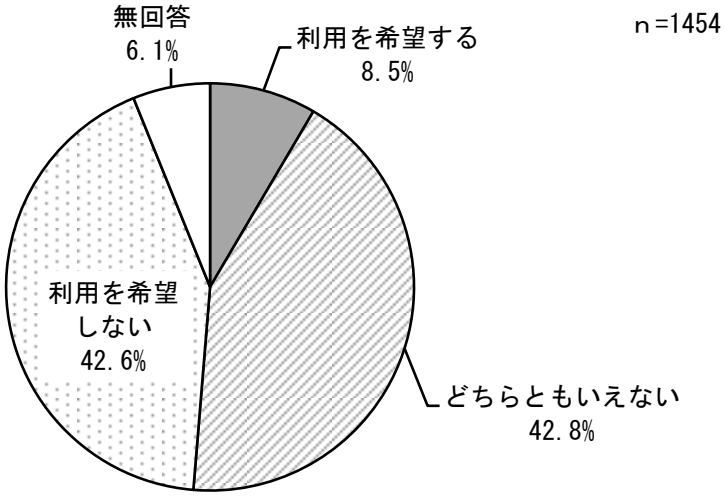


６　お子さんの病気やけがの際の対応について

（１）病気やけがの際の病児・病後児保育の利用意向

問１９　今後、お子さんが病気やけがをされた場合に、病児・病後児保育を利用されますか。（当てはまるもの１つに○）

病気やけがの際の病児・病後児保育の利用意向は、「どちらともいえない」が42.8%と最も多く、次いで「利用を希望しない」が42.6%、「利用を希望する」が8.5%となっています。

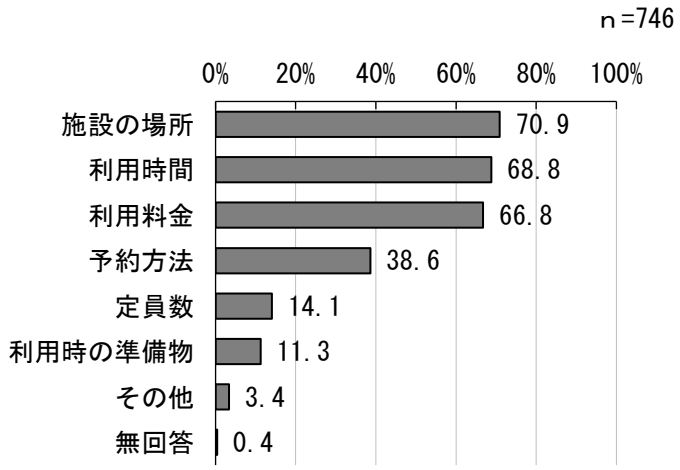


（２）病児・病後児保育を利用する際に重視する項目

【問１９で「１～２」を選んだ方にうかがいます。】

問２０　病児・病後児保育を利用される時に重視する項目はなんですか。（上位３つまでに○）

病児・病後児保育を利用する際に重視する項目は、「施設の場所」が70.9%と最も多く、次いで「利用時間」が68.8%、「利用料金」が66.8%となっています。



【その他】

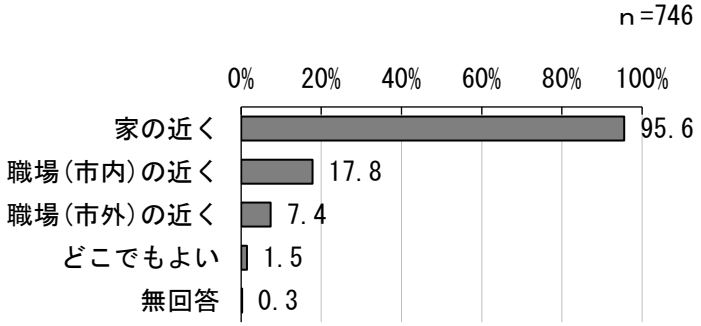
○感染症の発症時に預けたいが対応人数少ないと思うので困ったときに使うことができにくい
○子どもを安心して預けられるか。
○看護師さんへの安心感
○そもそもどのように預かってくださるのか対応内容がわかりません。わからないことに対し安心して預ける選択ができません。
○保育所の雰囲気
○いつまでに予約したらみてもらえるのか
○対応する人が女性であること
○預ける場所の環境と預かってくれる人の人柄やスキル
○子どもが病気で不安な中、預けなければならないため、子どもに寄り添ってくれるかどうか。

（３）利用しやすい病児・病後児保育の場所

【問１９で「１～２」を選んだ方にうかがいます。】

問２１　利用しやすい病児・病後児保育施設の場所はどこですか。（上位２つまでに○）

利用しやすい病児・病後児保育の場所は、「家の近く」が 95.6%と最も多く、次いで「職場（市内）の近く」が 17.8%、「職場（市外）の近く」が 7.4%となっています。

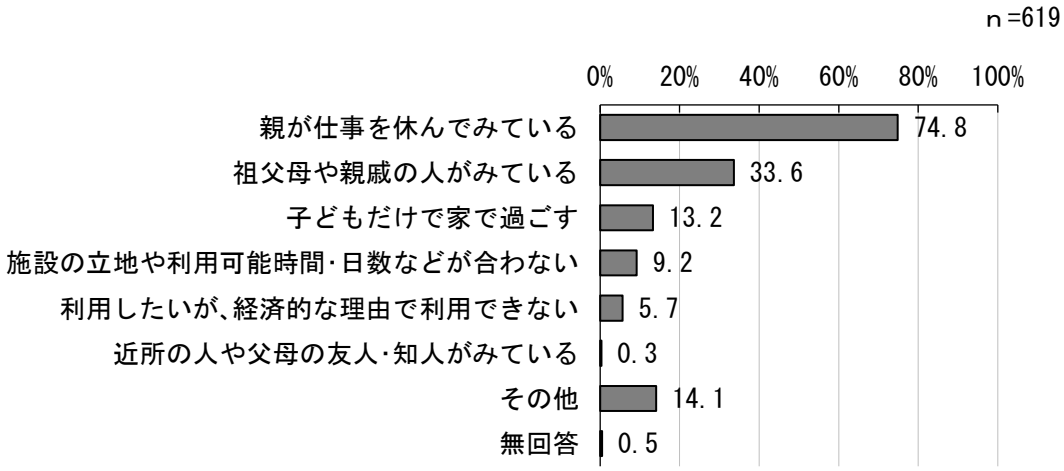


（４）事業を利用したいと思わない理由

【問１９で「３」を選んだ方にうかがいます。】

問２２　利用したいと思わない理由はなんですか。（当てはまるものすべてに○）

病児・病後児保育を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んでみている」が74.8%と最も多く、次いで「祖父母や親戚の人がみている」が 33.6%、「その他」が 14.1%となっています。



【その他】

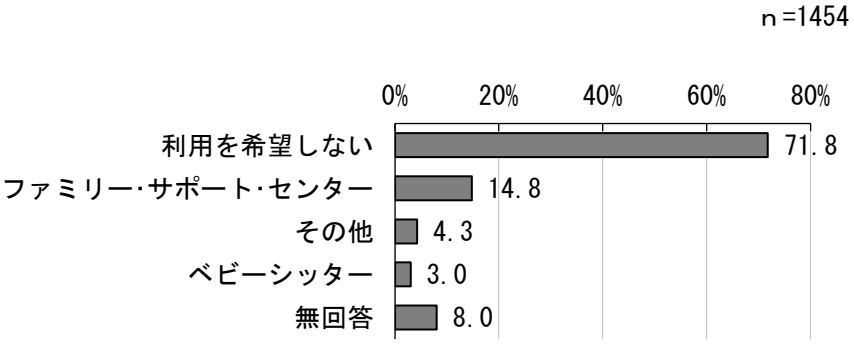
○手続きの仕方がわからない
○在宅勤務のため、自分でみることができる
○平日は自宅から子どもを送るための手段がないので、利用は現実的ではありません。
○病気の子が他にいる場所に滞在させたくない
○今就労していないので
○仕事の融通が利くので、自身でみる。

7　お子さんの「不定期な」事業等の利用状況について

（1）「不定期に」利用したい事業の有無

問２３　お子さんについて、「不定期に」利用している、または利用したい事業はありますか。（当てはまるものすべてに○）

「不定期に」利用している、または利用したい事業は、「利用を希望しない」が71.8%と最も多く、次いで「ファミリー･サポート･センター」が 14.8%、「その他」が 4.3%となっています。



【その他】

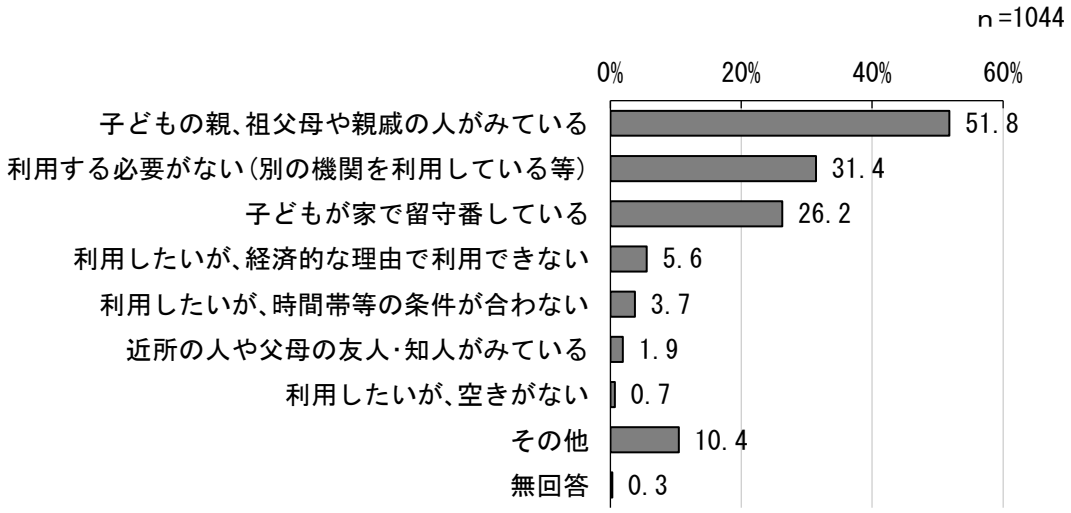
児童クラブ／ショートステイ／児童館のお弁当タイム／放課後デイサービス利用中／フリースクール／習い事の送迎サービスがあれば、利用したいです。市内バスの充実でもいいです。（有償で構わない）／体験イベント／管理人のいる公園や屋内で遊べる施設があれば利用してみたい／学童の１日単位での利用／託児所／こども園

（２）事業を利用したいと思わない理由

【問２３で「４」を選んだ方にうかがいます。】

問２４　利用を希望しない理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

事業を利用したいと思わない理由は、「子どもの親、祖父母や親戚の人がみている」が51.8%と最も多く、次いで「利用する必要がない（別の機関を利用している等）」が 31.4%、「子どもが家で留守番している」が 26.2%となっています。



【その他】

○重度の食物アレルギーがあるため
○他人を自宅に入れたくないから
○勉強を教えてもらえるわけではないので、児童館に行くだけで十分だから…
○子どもが知らない人を嫌がる。
○閉鎖された環境に置くのが心配
○お金がかかる
○仕事を休んで自分がみるため
○個人の情報漏れが心配なため
○利用したいが、事前の登録等の手続きがあり、利用したいと思った時に手軽に依頼出来ない。
○携帯を所持させ緊急時に連絡がとれる環境にある

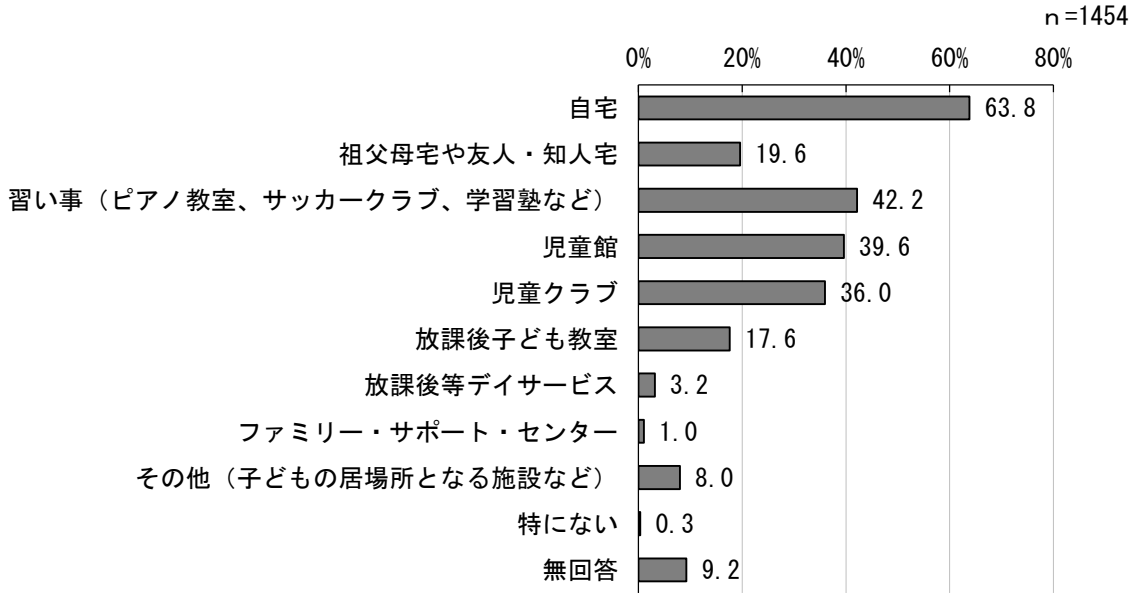
８　放課後や休日の過ごし方について

（１）放課後過ごさせたい場所

問２５　お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。（低学年・高学年のそれぞれ当てはまるものすべてに○）

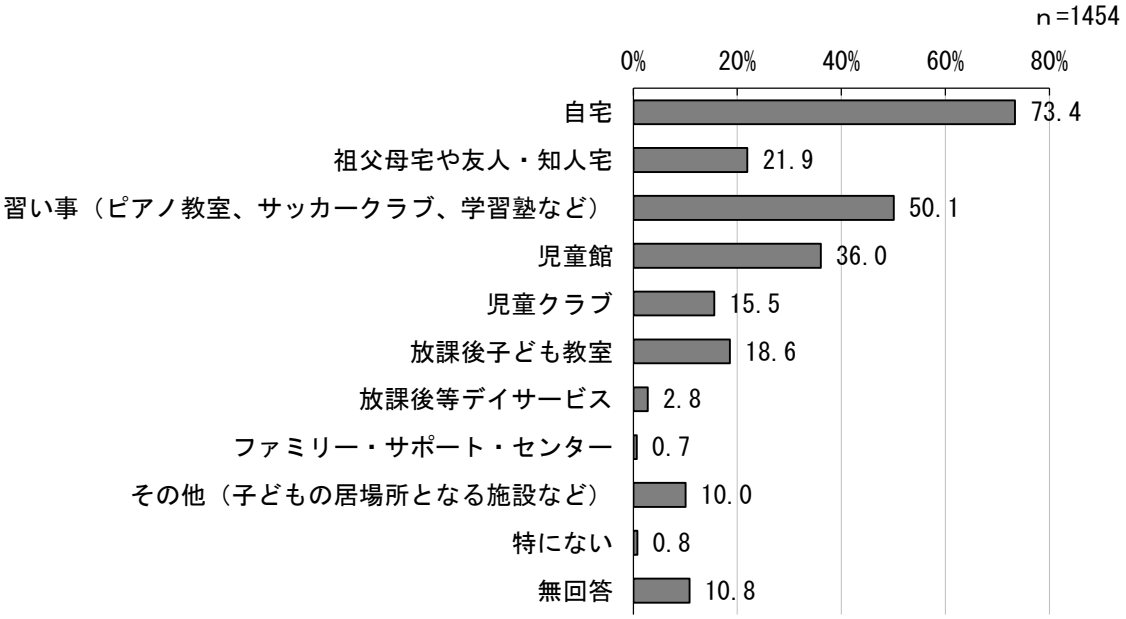
【１～３年生】

放課後過ごさせたい場所は、１～３年生としては、「自宅」が63.8%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 42.2%、「児童館」が 39.6%となっています。



【４～６年生】

放課後過ごさせたい場所は、４～６年生としては、「自宅」が73.4%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 50.1%、「児童館」が 36.0%となっています。



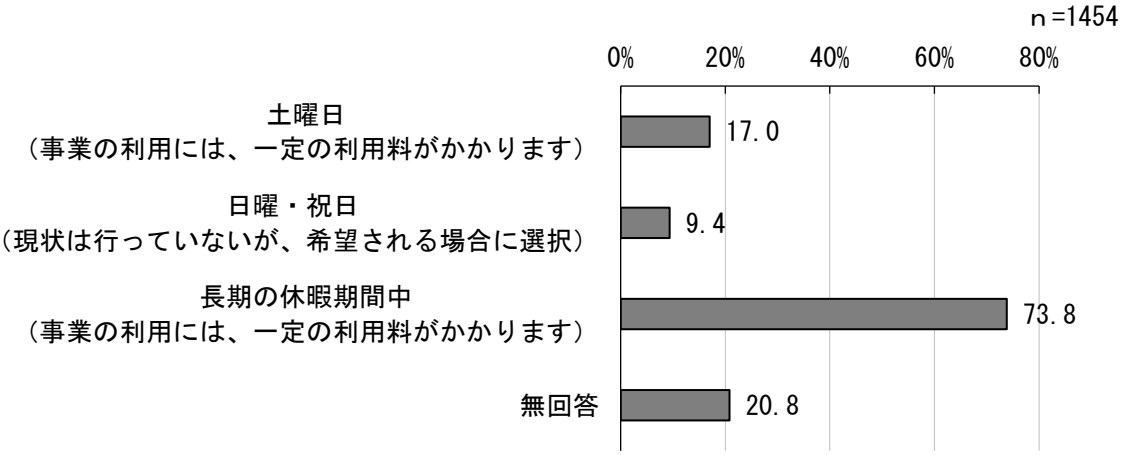
（２）休日の児童クラブの利用希望

【問２５で「５」を選んだ方にうかがいます。】

問２６　お子さんについて、土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中に、児童クラブの利用を希望しますか。（低学年・高学年のそれぞれ当てはまるものに○）

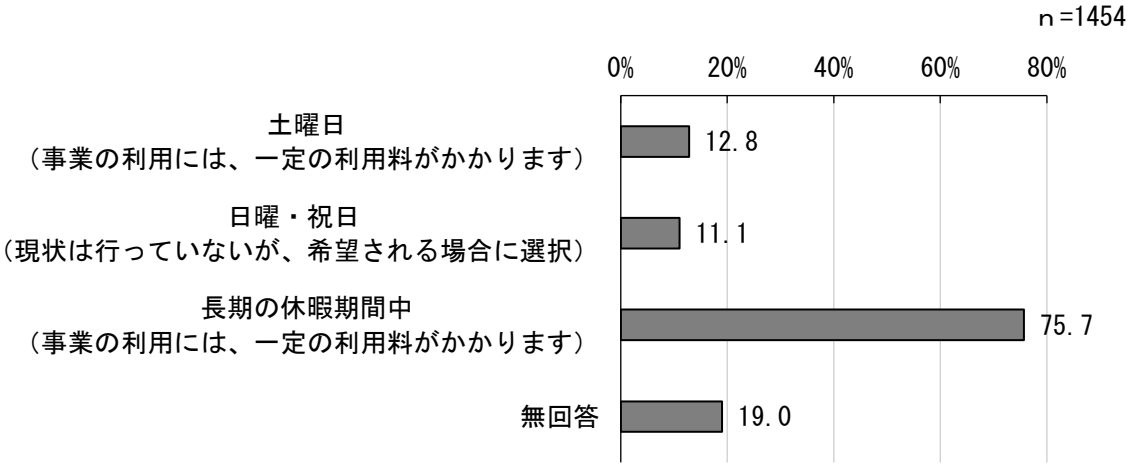
【１～３年生】

児童クラブの利用希望は、１～３年生としては、「長期の休暇期間中（事業の利用には、一定の利用料がかかります）」が73.8%と最も多く、次いで「土曜日（事業の利用には、一定の利用料がかかります）」が17.0%、「日曜・祝日（現状は行っていないが、希望される場合に選択）」が9.4%となっています。



【４～６年生】

児童クラブの利用希望は、４～６年生としては、「長期の休暇期間中（事業の利用には、一定の利用料がかかります）」が75.7%と最も多く、次いで「土曜日（事業の利用には、一定の利用料がかかります）」が12.8%、「日曜・祝日（現状は行っていないが、希望される場合に選択）」が11.1%となっています。

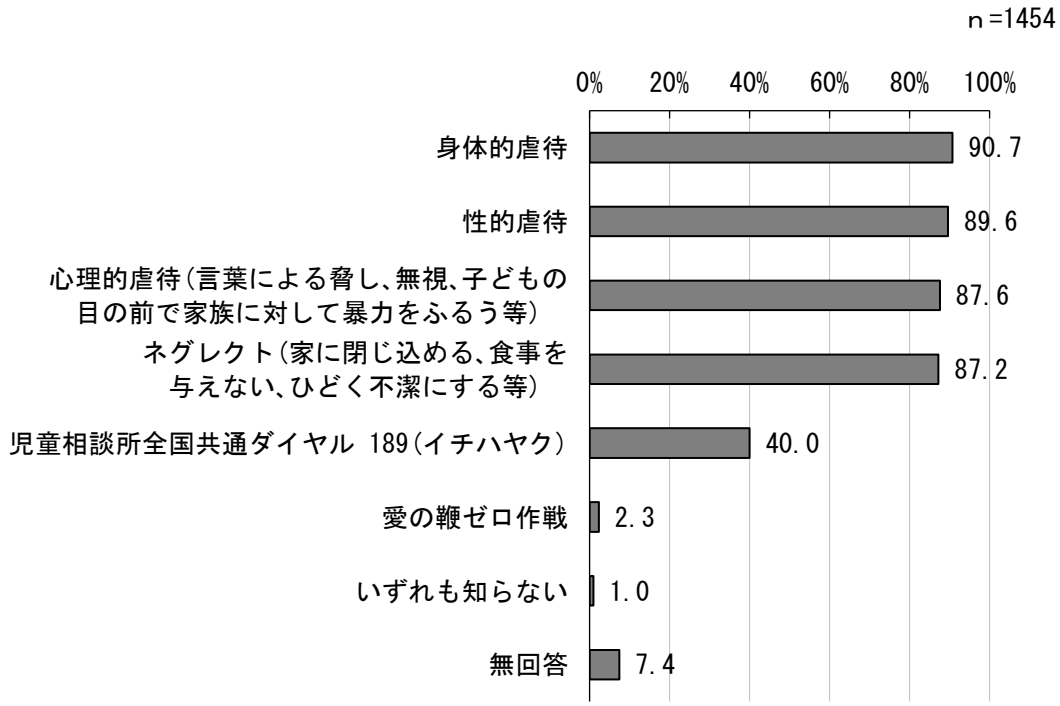


９　児童虐待について

（１）児童虐待について知っていること

問２７　児童虐待について知っていることは何ですか。（当てはまるものすべてに○）

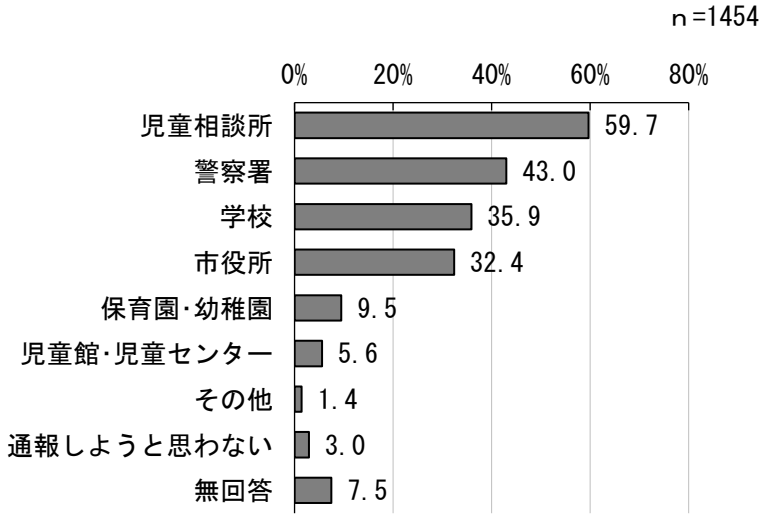
児童虐待について知っていることは、「身体的虐待」が90.7%と最も多く、次いで「性的虐待」が89.6%、「心理的虐待（言葉による脅し、無視、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう等）」が87.6%となっています。



（２）児童虐待を見聞きした際の通報場所

問２８　児童虐待を見聞きした場合には、どちらに通報しようと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

児童虐待を見聞きした際の通報場所は、「児童相談所」が59.7%と最も多く、次いで「警察署」が43.0%、「学校」が35.9%となっています。



10　貧困関係

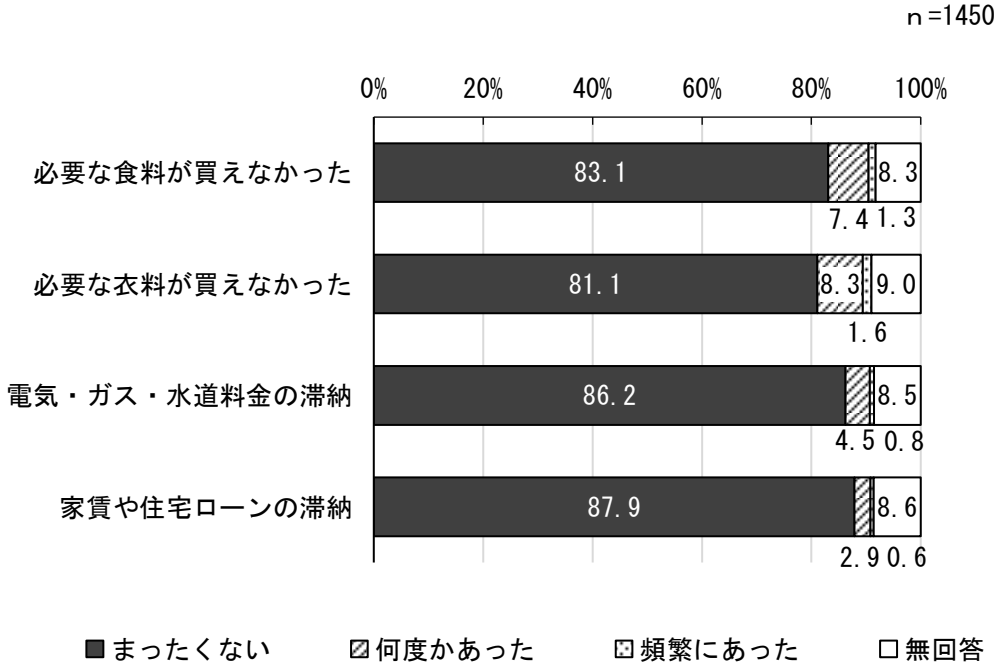
（１）経済的に行えなかった経験

問２９　あなたの世帯では、過去１年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。（それぞれ当てはまるもの１つに○）

経済的な理由による経験は、「まったくない」としては、「家賃や住宅ローンの滞納」が87.9%と最も多く、次いで「電気・ガス・水道料金の滞納」が 86.2%、「必要な食料が買えなかった」が 83.1%となっています。

「何度かあった」としては、「必要な衣料が買えなかった」が 8.3%と最も多く、次いで「必要な食料が買えなかった」が 7.4%、「電気・ガス・水道料金の滞納」が 4.5%となっています。

「頻繁にあった」としては、「必要な衣料が買えなかった」が 1.6%と最も多く、次いで「必要な食料が買えなかった」が 1.3%、「電気・ガス・水道料金の滞納」が 0.8%となっています。

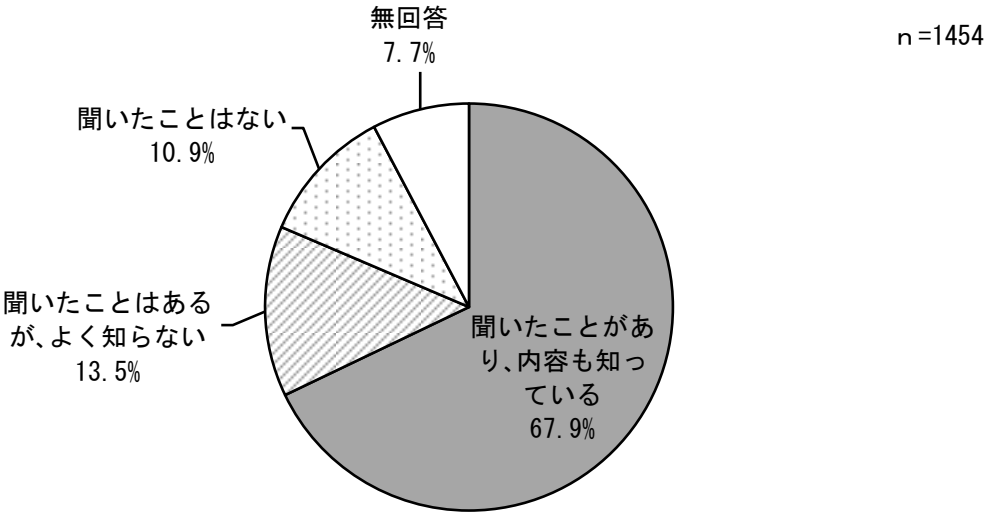


12　ヤングケアラー関係

（１）ヤングケアラーの認知

問３０　あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。（当てはまるもの１つに○）

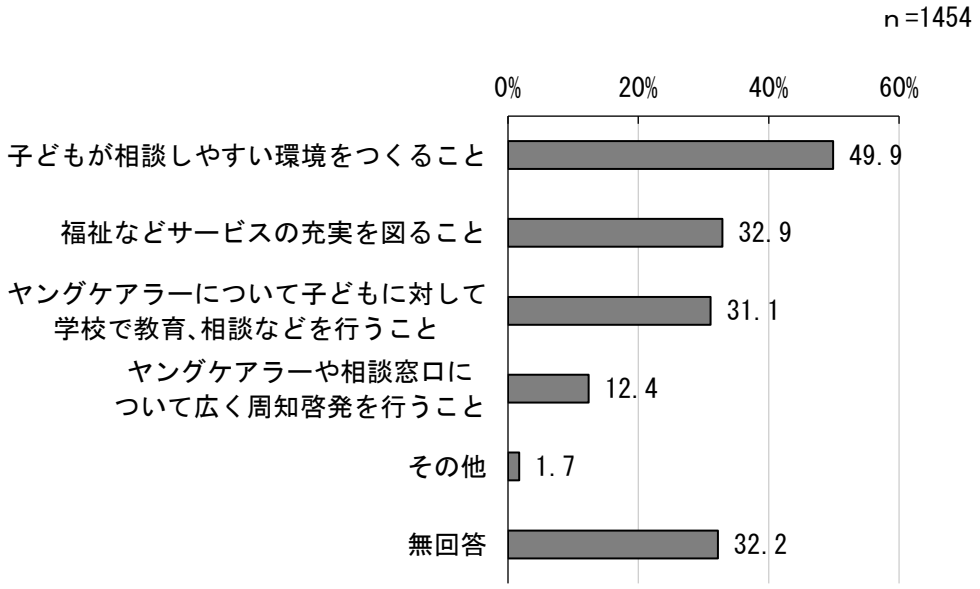
ヤングケアラーの認知は、「聞いたことがあり、内容も知っている」が67.9%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が 13.5%、「聞いたことはない」が 10.9%となっています。



（２）ヤングケアラーへの支援で必要だと思う支援

問３１　ヤングケアラーへの支援として必要なことはどんなことだと思いますか。（上位２つまでに○）

ヤングケアラーへの支援で必要だと思うことは、「子どもが相談しやすい環境をつくること」が 49.9%と最も多く、次いで「福祉などサービスの充実を図ること」が 32.9%、「ヤングケアラーについて子どもに対して学校で教育、相談などを行うこと」が 31.1%となっています。



【その他】
- ○経済的支援
- ○児童相談所等による強制的な保護や介入
- ○頼れる人、甘えられる人がそばにいること
- ○親の知識
- ○子ども本人が「そうである」と気づけるように啓蒙していく。相談できる大人が複数いることを知らせていく。
- ○ヤングケアラーが相談した場合に速やかにサポートに入れる介護体制
- ○親との相談窓口もあったほうがいいかと思います
- ○知識や教育でなんとかなるとは思わない。
- ○縦横だけではなく斜めの関係性をつくること（子育てを家庭の問題とせずまち地域全体の子どもとして育てていく　北名古屋市はそういうことを本気でしようとしているまちとしてブランディングしていく）
- ○本人が気づいてないことが多いと思うので、アンケートなどで子どもに近い人が気づいてあげる環境が必要だと思います。

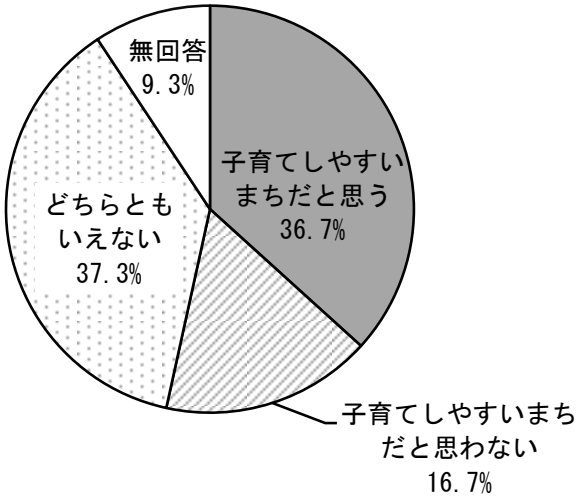
13　さいごに

（１）北名古屋市の子育てのしやすさ

問３２　北名古屋市は子育てしやすいまちだと思いますか。（当てはまるもの１つに○）

北名古屋市は子育てしやすいまちだと思うかは、「どちらともいえない」が37.3%と最も多く、次いで「子育てしやすいまちだと思う」が 36.7%、「子育てしやすいまちだと思わない」が16.7%となっています。

n=1454



（２）子育て環境や支援に関するご意見

問３３　北名古屋市の教育・保育環境の充実など、子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

※自由意見については、別にまとめています

「第３次北名古屋市子ども・子育て支援事業計画」
策定のためのアンケート調査　結果報告書

発行年月：令和６年８月
発　　行：北名古屋市
編　　集：北名古屋市　福祉こども部子育て支援課
住　　所：〒481-8531
　　愛知県北名古屋市西之保清水田 15 番地
電　　話：0568-22-1111